見積用

なかとかち浄水場池棟(1系No.2)耐震補強工事

参考資料

十勝中部広域水道企業団

1. 適用

本工事は工事請負契約書に基づき、「設計図書」及び「特記仕様書」、下記に記載する図書に基づき施工するものとする。

- ① 「水道工事標準仕様書(十木工事編)最新版」 日本水道協会監修
- ② 「水道工事標準仕様書(設備工事編)最新版」 日本水道協会監修
- ③ 「十木工事共通仕様書 最新版」 北海道建設部監修

上記、各図書に記載のない場合においては、関係各要綱及び要領、示方書及び指針等に準拠することとし、その適用にあたってはその都 度監督員と協議を行うこと。 また、施工にあたり疑義、不明な点が生じた場合も同様に協議を行うこと。

2. 工事積算基準等

本設計図書は、全国簡易水道協議会が発行する「水道事業実務必携、国庫補助事業歩掛表」、国土交通省「土木工事標準積算基準書」、北海道建設部制定「土木工事積算基準」に基づき作成している。

3. 概数

- (1) 設計内訳書「摘要」欄に「概数」と示した数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- (2) この工事においては、設計変更図書の作成(変更図面の作成及び工事数量の算出)を受注者が行うものとする。
- (3) 概数に係る施工にあたっては、施工図面・数量計算書等作成のうえ、工事監督員と十分協議し、施工協議簿にその打合せ経過を記入 すること。
- (4) 標準図は標準的な施工または出来形を示すものであり、現地状況等に応じて受注者は十分照査のうえ実施するものとする。
- (5) 変更の必要が生じた場合は、すみやかに工事監督員と協議を行うこと。
- (6) 設計内訳書「摘要」欄に「概数」と示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって 新たに必要となる項目についても概数として扱うことがある。

4. 参考図

参考図として示した図面は、発注者が想定した工法、材料等を記したものであり、これに示されている事項については、受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等により、これにより難い場合は必要に応じて設計変更する。

なお、設計上過大な計画に対して変更するものではないことに留意すること。

5. 工期

本工事の予定価格算出の基礎となる積算基準日及び積算工期は下記のとおりである。

積算基準日 令和 6年 6月24日

この工期には、雨天、休日等(日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇及び作業期間内の全土曜日を含む。)を見込んでいるものである。

6. 施工条件の明示

- ・池内部の施工は、原水水質が安定した時期に行うものとし、協議のうえ決定する。
- ・池部の水抜き、水張等の作業は、浄水場運転管理受託者が協議のうえ実施する。
- ・撤去再設置する撹拌設備は、浄水処理における重要な設備であることから、作業は設備に精通した者が行うこと。

7. 施工計画書の作成

- (1) 受注者は、契約後すみやかに公示用設計図書の検討、基本的な測量による現場確認、関係機関への届け出、監督員との打合せを行うこと。
- (2) 特記仕様書に記載のある条件明示の項目について、全て現地等と適合するか否か確認し、施工計画書に図面を含め詳細(管理者名、会社名、住所、距離及び受け入れ条件等)に記載すること。設計図書と現地等において相違が確認された場合は、直ちに監督員に報告し、必要に応じ協議すること。
- (3) 施工計画書を提出し確認を受けるまで、工事に着手(物理的な行為)してはならない(測量、調査は除く)。ただし、監督員の承諾を得た場合は、この限りではない。
- (4) 施工方法には、具体的な作業手順、具体的な作業方法、当該工事で留意すべき事項を記載すること。
- (5) 出来形管理基準、品質管理基準及び写真管理基準について、合格判定値のほか社内管理基準を明記すること。また、どこの箇所(測点等)でどの程度実施するのか予定箇所等を記載すること。
- (6) 品質管理基準は、小規模な工事以外は関連項目をすべて満足できるよう、試験方法、品質管理基準項目及び実施項目については、監督員と協議し、施工計画書に記載すること。
- (7) 特記仕様書及び共通仕様書等で指定のある段階確認及び立会については記載することとし、その他の段階確認事項について、工事監督員と協議のうえ記載すること。
- (8) 施工計画書で変更になる部分は、その理由を付したうえで、すみやかに監督員に提出すること。
- (9) 道路上において作業等をする場合は、道路交通法第77条第1項の規定に基づく道路使用許可を所轄警察署から受け、施工計画書に 添付すること。

8. 工事看板

工事看板は、「道路工事現場における標示施設等の設置基準」(昭和37年8月30日道発第372号建設省道路局長通達)に基づき掲示するものとし、工事終了日、工事時間帯等を表示すること。

9. 安全訓練等の報告

「共通仕様書」1-1-1-33に従い実施された安全・訓練等の状況を、開催毎の写真、出席者名簿(署名入り等)等を報告書に添付し提出すること。また、安全・訓練の他に、災害防止協議会、安全パトロールの実施状況を添付し提出すること。KY活動や器材の点検記録等は提出は求めないが、社内で保管すること。

10. 段階確認事項

次の時期又は工種については、段階確認を実施する。また、次に示すほか、必要となる確認事項については監督員と協議すること。

- ・施工範囲の墨出し確認 ・配筋確認 ・型枠確認
- ・資材検収 ・後施工アンカー引張試験
- ・ その他、監督員が指定した時点。

11. 社内検査

社内検査の具体的な実施計画を記載した「社内検査計画書」を監督員に提出(施工計画書に添付)すること。「社内検査計画書」には、 社内検査員任命書(写し)及び経歴書を添付すること。 また共同企業体施工による複数の検査員を任命する場合には、統括検査員を定めること。

社内検査結果は、「社内検査報告書」として取りまとめ、検査の状況写真等を添付のうえ、その都度、監督員に提出すること。

12. 共同企業体編成表

本工事を共同企業体で受注した場合は、契約締結後5日以内(着工届に添付)に共同企業体編成表を作成のうえ、監督員に提出すること。

13. 工事完成届

工事完成届の提出に際し、完成写真として着工前及びこれと対比できる完成の写真帳を提出すること。なお、写真帳には撮影年月日及び 測点等を記入するものとする。

14. 特定建設資材廃棄物の処理について

- (1) この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- (2) 建設リサイクル法に係る特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルトコンクリート) を用いた工作物等の解体においては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行規則」に定められた方法により分別解体等 を実施すること。
- (3) 分別解体等を実施する者(下請け含む)は、建設業法の土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業に係る第3条第1項の許可を受けた者か、解体工事業登録を受けた者が施工すること。また、解体工事業登録を受けた者が分別解体等を実施する場合は、分別解体等を実施する場所において解体工事業に係る登録等に関する省令に定められた解体工事業者登録票を掲示し、解体工事登録者が選任した建設リサイクル法に規定される技術管理者に、その分別解体等の監督をさせなければならない。
- (4) 分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、発生木材、アスファルトコンクリート塊)は、受注者において 適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と 積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責による ものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出のうえ、工事監督員と協議すること。 ※ 処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。
- (5) 当該工事受注後すみやかに再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)に必要事項を記載し施工 計画書に添付すること。なお、再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)は、工事着手日までに

工事監督員に提出し、提出時にその内容を説明すること。受注者は再生資源利用促進計画を書面または映像(デジタルサイネージ)により工事現場の見やすい場所へ掲示するとともに、可能な限りインターネットの利用により公表するよう努めること。工事完成後、建設廃棄物の処理の実施状況を記録し、再資源化等報告書、再生資源利用実施書(様式1)及び再生資源利用促進実施書(様式2)を作成し、監督員に提出するとともに、5年間保存すること。また、工事監督員から請求があった時は、当該実施状況を報告しなければならない。なお、再生資源利用(促進)計画書(実施書)は、建設副産物に係る情報入力システム(一般財団法人日本建設情報総合センターが提供する建設副産物情報入力システム(COBRIS)等)により作成すること。これにより難い場合、監督員と別途協議すること。

- (6) 産業廃棄物の収集・運搬・処分を委託する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、適正に処理するとともに産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付し、5年間保存すること。また、工事完成後監督員に産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表を作成し提出すること。なお、産業廃棄物管理票のA票、E表及び受入伝票のコピーに関しては、監督員の指示があった場合に提出すること。
- (7) 工事写真に、処理業者名(処分場名の看板等)が判り且つ搬入状況も判る写真を貼付すること。
- (8) 本設計図書において発生しないものとしている種類の特定建設資材廃棄物であっても、受注者の都合により実際に発生させ、廃棄物として処分する場合は、当該特定建設資材廃棄物の再資源化等実施方法の確定後に、建設リサイクル法第13条及び分別解体等省令第4条に基づく協議書の別記様式を準用し、「4 再資源化等をするための施設の名称及び所在地」欄に必要事項を記載して、工事監督員の確認を受けること。

15. 排出ガス対策型建設機械の使用について

- (1) 当該工事において使用する建設機械は、現場作業環境の改善、大気環境の保全を目的として、排出ガス対策型建設機械(以下、「排 対機械」という。)を使用することを原則とする。
- (2) 排対機械を使用できない場合は、排出ガス浄化装置を装着した建設機械(以下排対機械を含め、排対機械等)を使用することで排対機械と同等とみなす。ただし、リース会社に在庫が無い、自社持ち機械を使用する、浄化装置を装着できない等の理由により排対機械等を使用できない場合は、その理由書を監督員に提出し協議すること。
- (3) 施工計画書の使用機械一覧表に、排対機械等の使用の有無を明記すること。
- (4) 当該工事の施工に排対機械等を使用したことを証明する施工状況写真を検査時に提出しなければならない。
- (5) 排対機械等を使用できない場合については、設計変更の対象とする。

16. 地上地下の既設公共施設の被害防止について

電気、通信、水道、ガスなど社会生活に重大な影響を及ぼす既設公共施設については、特段の注意を払い工事現場の管理を行うこと。

- (1) 地上地下の既設公共施設の確認
 - 工事着工前に、工事箇所及びその周辺にある既設公共施設の確認を確実に行うこと。確認結果は監督員に報告すること。
- (2) 施設管理者との協議等

既設公共施設の有無にかかわらず。すみやかに施設管理者と協議を行うこと。工事により施設に影響を及ぼす恐れのある場合は、施設管理者の指示を受け、その必要な保安措置を講じること。

(3) 施工計画書の提出

施工計画書に、施設管理者との協議、指示内容及び保安措置について具体的に記載し、工事監督員に提出すること。なお、該当施設がない場合であっても、その旨、記載すること。

(4) 工事の着手

施工計画書の提出及び事故防止保安措置を講じた後でなければ、工事に着手してはならない。

(5) 北電配電線・送電線設備

工事着手前に「北電送電課及び配電課」と打合せを行い、その内容を施工計画書に明記すること。

(6) NTT通信設備

工事着手前に「㈱NTT東日本-北海道 道東支店設備部門」と打合せを行うこと。工事看板に協議済みシールを添付すること。

17. 資材納入伝票

生コンクリート、路盤用骨材(切込砂利、砕石、砂、再生骨材等)及び採取土などの納入伝票は、工事監督員の確認のうえ全て受注者において保管すること。また、完了検査時には持参し検査員の求めに応じて速やかに提出できるようにしておくこと。なお、資材納入伝票の保存期間は5年間とする。

18. 北海道循環資源利用促進税(以下、「循環税という」)について

当該工事で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合、または中間処理場に搬入される場合でも、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。なお、循環税相当額が当初設計に計上されておらず、適切な工程管理のもと産業廃棄物を最終処分場または中間処理場に搬入し、循環税相当額が必要となる場合は、別途協議とする。

19. 工事保険の加入について

本工事は、次に規定する保険等に加入しなければならないものとし、保険契約締結後、工事監督員に保険証券の写し(保険以外の場合には、保険証券に代わるもの)を提出すること。

- (1) 保険等の種類
 - ① 工事目的物、工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険。(土木工事保険、組立保険等)
 - ② 工事の施工に伴い第三者に与えた損害を埴補する保険。(請負業者賠償責任保険等)
 - ③ 上記に準ずるその他の保険。
- (2) 保険等の金額
 - ① 請負代金以上。
- (3) 保険等の期間
 - ① 工事着手のときから工事目的物の引き渡しまでの期間

20. 衛生管理

本工事は、水道施設改修工事であることから、現場担当者・作業員の衛生管理に留意すること。 水道施設内に立入る者は、水道法第21条に基づいた健康診断(保菌検査)を実施し、保菌検査(検便)結果書を提出すること。

21. 施工

(1) 構造物撤去工事

- ① コンクリート構造物取壊し及びコンクリートはつりを行うにあたり、本体構造物の一部を撤去する場合には、本体構造物に損傷を与えないように施工すること。
- ② 殻運搬処理を行うにあたり、運搬物が飛散しないよう適正に処理しなければならない。
- ③ 鋼材切断を行うにあたり、本体部材として兼用されている部分においては、本体の部材に悪影響を与えないように処理しなければならない。

(2) コンクリート工事

- ① コンクリートは、牛コンクリートを使用し、ITS A 5308「レディミクストコンクリート」によること。
- ② コンクリートの強度は、次のとおりとする。

種別	場所	設計基準強度(N/mm2)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランフ゜(cm)	参考
無筋コンクリート	勾配コンクリート	18	40	5	C-4
鉄筋コンクリート	増し打ち補強	24	20~25	12	RC-4

(3) 鉄筋工事

- ① コンクリートに使用する鉄筋は、JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に規定するSD345熱間圧延棒鋼を使用すること。
- ② 鉄筋の交差点は、20#の鉄線又は適当なクリップで堅結しなければならない。
- ③ 鉄筋と型枠との間隔は、スペーサー、吊金具等によって正しく保たなければならない。
- ④ 鉄筋の継手は、重ね継手・ガス圧接継手とし、「金属材料引張試験方法」に準じてこれを試験し、継手の強度を確認しなければならない。
- ⑤ 鉄筋の重ね継手の定着長さは、設計標準図に示す長さ以上とすること。また、明示なきものは発注者の指示に従うこと。
- ⑥ 鉄筋組立後、コンクリート打設に先立ち、発注者の配筋検査を受けること。
- ⑦ 開口部周囲には、図示になくとも補強筋を挿入すること。

(4) 型枠工事

- ① 型枠は、合板型枠又は木製型枠を使用すること。
- ② 池内防水塗装面の型枠は、型枠取り外し後、防水可能な型枠を使用すること。
- ③ 型枠の取り外しは、監督員の承認を受けて行ない、コンクリートに損傷を与えないように十分注意しつつ取り外さなければならない。

(5) 型枠支保工事

- 型枠支保工の材料は、著しく損傷、変形または腐食があるものを使用してはならない。
- ② 型枠支保工を組み立てる場合には、型枠の形状、コンクリートの打設方法に応じて堅固な構造のものとする。
- ③ 型枠支保工の解体は、コンクリート部材に衝撃を与えないように、コンクリート部材との間に隙間ができるまで、全体を一様に 徐々にゆるめ解体するものとする。

(6) 池内防水工事

- ① 本工事の池内防水仕様は、下記の条件を満たすものとする。
- ア) 日本水道協会規格JWWA K-143に規定される性能試験に合格するもの。
- イ)水道法第5条「水道施設の技術的基準を定める省令(厚生労働省令15号)」に規定される資機材等の材質に関する試験に合格するもの。
- ウ) 環境ホルモン物質が含まれないもの。
- エ) 塗布面(コンクリート面) がある程度湿潤状態であっても、所定の性能を確保できるもの。
- ② 防水塗装前には、池内清掃後、高圧洗浄などを行って施工面を洗浄すること。
- ③ クラックが発生している箇所を確認した場合は、監督員と協議すること。

(7) あと施工せん断補強鉄筋

- あと施工せん断補強鉄筋は、下記の条件を満たすものを採用すること。
- ① チューブ式無機系接着アンカーと同等以上の性能を有すること。ただし、製品変更の際は有効せん断耐力が異なるため、受注者の責任において必要本数を再計算すること。この場合の設計変更は行わない。
- ② 一般財団法人土木研究センターの建設技術審査証明を取得した工法であること。
- ③ あと施工せん断補強鉄筋の施工に当たっては、鉄筋探査により既存鉄筋位置を復元した上で、既存鉄筋と干渉しないよう、せん 断補強鉄筋配置を精査及び見直しを行い、施工計画に反映すること。
- ④ 既存鉄筋と設計図書に示すあと施工せん断補強鉄筋の施工位置が干渉する場合は、設計図書に示す必要本数及び構造細目を満足する範囲内で、あと施工せん断補強鉄筋の施工位置を変更すること。その他詳細は、鉄筋探査の結果に基づき、監督員との協議により決定すること。

22. 提出書類

提出する書類は次のとおりとする。

(1) 工事の着手前に提出するもの

提出書類	提出時期	対象工事	備考・注意点	根拠	備考
工事工程表	契約後、ただちに提出	すべての工事		契約書 第3条第1項	
着工届	着工(契約の翌日から5日以内)次第、 ただちに提出	すべくの工事	事業開始届受理証明書の承認 印を受けるか、または、労働 者災害補償保険関係成立届を 添付	契約書	
主任技術者及び現場代 理人届	着工後、ただちに提 出	すべての工事	主任(監理)技術者が3ヶ月 以上継続して雇用されている ことを確認できる書類の写し を添付	第10条第1項	

経歴書 (技術者)	着工後、ただちに提出	すべての工事		契約書 第10条第1項	
共同企業体編成表	着工届に添付	共同企業体で受注した 工事			
共済掛金収納書届	契約から1ヶ月以内 に提出	すべての工事		要綱 第9条第1項	
保険証券等の写し (火災保険・建設工事保険等)	保険契約締結後速や かに提出	すべての工事		契約書 第46条第2項	
工事カルテ作成・登録	受注・変更・完成・ 訂正時10日以内	請負代金が500万円以上	工事実績情報サービス (CORINS)に基づき、監督員の 確認を受けてから登録し、受 領書を提出		仕様書1-1-1-8
施工体制台帳 【様式施工1号】	着工後すみやかに工 事現場に備えるとと もに写しを提出	下請契約がある工事	全ての一次以降下請契約書の 写しを添付	要綱 第6条第1項	
施工体系図 【様式施工2号】	着工後すみやかに掲 示するとともに写し を提出	下請契約がある工事	工事関係者及び公衆が見やす い場所に掲示	要綱 第6条第2項	
再下請負通知書 【様式施工5号】	再下請契約取り交わ し後すみやかに提出	二次以降の下請契約が ある工事	二次以降下請→一次以降下請 →元請(元請が提出を指導・ 取りまとめ)	要綱第6条第3項	
再生資源利用計画書 再生資源利用促進計画書	工事着手(実際の工事 着手)の7日前	すべての工事	建設リサイクル法通知資料 施工計画書に添付	建設リサイクル法 第11条	仕様書1-1-1-22
施工計画書	工事着手(測量開始) 前、変更の都度	すべての工事			仕様書1-1-1-6
安全訓練等実施計画	施工計画書に添付	すべての工事			仕様書1-1-1-33
特定建設作業実施届出の写し	施工計画書に添付	騒音規制法・振動規制 法に規定された特定建 設作業を行う場合			
工事材料品質確認願	材料の使用前	すべての工事		契約書 第13条第1項	仕様書1-2-1-1 仕様書1-2-2-1
官公庁及び関係機関への届出の写し	事前	関係機関等への届出がある場合			仕様書1-1-1-42

^{※「}仕様書」とあるのは、「北海道建設部土木工事共通仕様」のことをいう。

^{※「}契約書」とあるのは、「工事請負契約書」のことをいう。

^{※「}要綱」とあるのは、「帯広市発注工事に係る元請・下請適正化指導要綱」のことをいう。

(2) 工事の施工中に提出するもの

提出書類	提出時期	対象工事	備考・注意点	根拠	備考
工事施工協議簿	指示、承諾、協議、 検査、確認時	すべての工事			
履行報告書	毎月	すべての工事			仕様書1-1-1-30
立会願	立会前	契約図書に指定された 事項がある工事			仕様書1-1-1-23
段階確認願	段階確認前	契約図書に指定された 時点、工種がある工事			仕様書1-1-1-23
社内検査報告書	その都度、状況写真 を添付して監督員に 掲示、検査時に提出	すべての工事			仕様書1-1-1-50
安全訓練等実施報告書	監督員の請求があっ た場合は掲示、検査 時に提出	すべての工事	実施計画は施工計画書に添付		仕様書1-1-1-33
排出ガス対策型建設機 械等の使用を証明する 写真		排出ガス対策型建設機 械等の使用する工事	工事写真帳に添付		仕様書1-1-1-37
概数確定に必要な書類	確定後速やかに	すべての工事			

- ※「仕様書」とあるのは、「北海道建設部土木工事共通仕様」のことをいう。
- ※「契約書」とあるのは、「工事請負契約書」のことをいう。
- ※「要綱」とあるのは、「帯広市発注工事に係る元請・下請適正化指導要綱」のことをいう。

(3) 工事完成時に提出するもの

提出書類	提出時期	対象工事	備考・注意点	根拠	備考
完成届	工事が完成した時	すべての工事	撮影年月日を記載した着工前 とこれと対比できる完成写真 を添付(1部提出)	契約書 第31条第1項	
建退共証紙貼付実績書	完成届提出時			安 M	建退共に加入している が証紙貼付実績がない 場合は「該当なし」と して提出
下請代金の支払状況一覧 【様式施工4号】	完成届提出時	下請契約がある工事		要綱 第6条第2項	

施工体系図(結果報告用) 【様式施工3号】	完成届提出時	下請契約がある工事		要綱 第6条第2項	
再資源化等報告書	再資源化の完了後す みやかに	建設リサイクル法対象 工事	施工計画書に添付	建設リサイクル法 第18条	
再生資源利用実施書 再生資源利用促進実施 書	再資源化の完了後す みやかに	すべての工事	電子データは監督員へ提出 ペーパーは施工計画書に添付 1年間保存		仕様書1-1-1-22
実施工程表	完成届提出時	すべての工事	施工計画書に添付		実施工程を朱書 きすること

- ※「仕様書」とあるのは、「北海道建設部土木工事共通仕様」のことをいう。
- ※「契約書」とあるのは、「工事請負契約書」のことをいう。
- ※「要綱」とあるのは、「帯広市発注工事に係る元請・下請適正化指導要綱」のことをいう。

(4) 工事成果品

	要・否	提出成果品名	留意事項
計画	要	施工計画書	別途参照
工程管理	要	履行報告書	
	要	工事写真帳	「共通仕様書」の写真管理基準を参照
施工管理全般	要	工事施工協議簿	双方が署名または押印したもの。原本を発注者が、写しを受注者が保管する。
	要	段階確認願・立会願	
	要	工事材料品質確認願	
品質管理	要	試験成績書・品質証明書	使用した全ての材料について、品質を証明する資料を添付
叩貝6柱	要	現場試験成績表	仕様書の品質管理基準及び規格値に定められた工種別の試験項目について、試験 基準に適合する頻度で実施されているか
	要	出来形管理図表	測定結果総括表、測定結果一覧表、出来形測定表、出来形管理図など
出来形管理	要	出来形図	A3版またはA4版に綴れる大きさとする。大きさについては監督員と協議すること
山木が自生	要	使用資材総括表	設計数量との対比、割増量は適正か
		廃棄物関係書類	廃棄物管理票の写し
安全管理	要	安全訓練等実施状況報告書	
全般管理	要	社内検査報告書	
その他		高度技術・創意工夫に関する実施 状況報告書	
- C V/IE		諸官庁申請手続報告書	
		工事監督員が必要と求めたもの	

23. 週休2日工事の実施について

- (1) 本工事は、「週休2日工事」の対象工事であり、当初予定価格は4週8休以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。
- (2) 受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に週休2日による施工を行うことができる。
- (3) 週休2日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週休2日(4週8休)以上の現場閉所を行うことをいう。 対象期間は、工事着手日(現場に継続的に常駐した最初の日)から工事完成日(各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日)まで の期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、 発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間(受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等)は含まない。
- (4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、 降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
- (5) 週休2日(4週8休)以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合(以下「現場閉所率」という。)が、28.5%(8日/28日)以上の水準に達する状態をいう。
- (6) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- (7) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
 - 2) 受注者は、実施結果を履行報告書等により定期的に発注者へ報告する。
- (8) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (9) 受注者が週休2日による施工を希望しない場合又は現場閉所の達成状況の結果、4週8休に満たない場合は、労務費、機械経費(賃料)、共通仮設費率及び現場管理費率の補正について、履行状況に応じた設計変更を行う。
 - 1) 現場の閉所状況
 - ① 4 调 8 休以上
- 現場閉所率が28.5% (8日/28日) 以上の場合
- ② 4 週 7 休以上 4 週 8 休未満 現場閉所率が25.0% (7日/28日)以上28.5%未満の場合
- ③4週6休以上4週7休未満 現場閉所率が21.4%(6日/28日)以上25.0%未満の場合
- (10) 各経費の補正は対象期間全体に対する週休2日の達成状況により決定するものとするが、建設業の働き方改革を推進する観点から、 受注者は1か月ごとに4週8休以上の現場閉所が達成できるよう努めるものとする。
- (11) 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。
- (12) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。

施工計画書

令和 年 月 日

印

十勝中部広域水道企業団 企業長 米沢 則寿 様

受注者 住所

氏 名

工事名

上記工事について、施工計画書を下記のとおり提出します。

- 1. 工事概要
- 2. 計画工程表
- 3. 現場組織表(施工体系図を含む)
- 4. 使用機械
- 5. 使用資材
- 6. 施工方法(仮設備計画、工事用地等を含む)
- 7. 施工管理計画(工事監督員の立会、段階確認の内容及び時期、品質、 出来形、写真管理等を含む)
- 8. 緊急時の体制及び対応
- 9. 安全管理(安全訓練等の実施計画を含む)
- 10. 交通管理(過積載防止対策を含む)
- 11. 環境対策
- 12. 現場作業環境の整備
- 13. 建設副産物の適正処理計画
- 14. 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書
- 15. 社内検査
- 16. その他

上記工事について、施工計画書を受理しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名 印

課 長	課長補佐	係 長	主 任

工事看板記載仕様

ご迷惑をおかけします

浄 水 場 を 補強しています。

令和〇年〇月〇日まで 時間帯 00:00 ~ 00:00

净水場耐震補強工事

発注者 十勝中部広域水道企業団 電話 65局4208番

施工者 ○○○工業株式会社 電話 ○○局○○○○番 工事名を標示する

お願い

水道施設工事のため、 ご迷惑をお掛けします が、よろしくご協力願 います。

なお、お気付きの点は 係員にお申し出下さい。

発注者 十勝中部広域水道企業団 電話 65局4208番

施工者 〇〇〇〇株式会社 電話 〇〇局〇〇〇〇番

注: 現場に施工業者の工事作業所及び現場代理人詰所等がない場合は

施工会社のみの記載とする。 詳細は共通仕様書による。

なお、市街地の工事については工事監督員との協議のうえ1/2 サイズも設置可とする。

段階確認願(第回)

年 月 日

(監督員宛) 様

(受注者名) 現場代理人

(F)

下記について、段階確認をお願いします。

記

段階確認の内容

工事名		実 施 希 望 日	年 月 日
工種	細目等品質規格区	返域・測点等 数 量 等	呼 称 備 考

上記の段階確認について、以下のとおり実施します。

年 月 日

監督員

	\sim
(:	[])

実 施 日 時	年 月 日 時から 実 施 者 名
実 施 場 所	□工事現場、□制作工場、□(実施場所)
実 施 方 法	□臨場、□机上
必要書類	□設計図書、□測量結果、□出来形図等、□品質規格証明等
必 安 青 類	□施工管理記録、□写真、□(その他必要書類等)
特記事項	

(主 旨)

本様式は、現場代理人が工事監督員の段階確認を受ける必要がある場合に、工事監督員に提出するものである。

- 注 1 該当する□内に✓を記入すること。
 - 2 本様式は現場代理人が保管することとし、工事監督員はその写しを受け取ること。
 - 3 段階確認の結果及び指示事項については、工事施工協議簿にて明らかにすること。

社内検査計画書

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団 企業長 米沢 則寿 様

受注者 住所

氏名 印

上記工事について、社内検査計画書を別紙のとおり提出しますので、ご確認願います。

上記工事について、社内検査計画書を確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名 印

社内完成検査報告書

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団 企業長 米沢 則寿 様

受注者 住 所

氏 名 印

工事名

上記工事について、社内検査を行った結果、完成と認められるので報告します。

検査年月日 令和 年 月 日

検査員職氏名 印

立会人氏名

○○共同企業体編成表

	委員長○○○○(○○建設株式会社)
共同企業体運営委員会	委 員 ○○○○(○○建設株式会社)
	○○○(○○建設株式会社)
共同企業体工事事務所	
所長○○(○○建設株式会社)	
工務長○○(○○建設株式会社)	事務長○○(○○建設株式会社)
工務主任(班長)	事務主任(班長)
氏名 会 社 名	氏 名 会 社 名
工務係	事務係
氏 名 会 社 名	氏 名 会 社 名

再資源化等報告書

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団 企業長 米沢 則寿 様

受注者 住所

氏名

印

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条第1項の規定により、下記のとおり、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したことを報告します。

記

- 1, 工事の名称
- 2, 工事の場所
- 3,再資源化等が完了した年月日 令和 年 月 日
- 4, 再資源化等をした施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施	設	の	名	称	所	在	地

5,	特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用	万円
6,	再生資源利用実施書(様式1)	別紙のとおり
7,	再生資源利用促進実施書(様式2)	別紙のとおり

産業廃棄物管理票 (マニフェスト) 総括表

受注者 住 所 氏 名

毛 名 印

産廃種類: 工事名:

番号	搬出日	交付番号	運搬業者名 運転者名	運搬車 車両番号	両 積載可能重 量	搬出先 (処分業者名)	A票確認日	E票確認日	処分完了日	処分量	累計処分量	備考
1	R1. 10. 31	0609816499		1234	业 10t		R1. 11. 4	R1. 11. 4	R1. 11. 4	10.00 t	10.00 t	
	実 施	数	量 (合	計)				1	0.00 t	
	設 計	数	量 (合	計)					9.00 t	
			差								1.00 t	111%

工事材料品質確認願

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団 企業長 米沢 則寿 様

受注者 住所

氏名 印

工事名

上記工事について、工事材料の品質規格証明書を別紙のとおり提出しますので、ご確認願います。

上記工事について、工事材料の品質規格を確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

囙

課 長	課長補佐	係 長	主 任

課長	課長補佐	係 長	主 任

施 工 体 制 報 告 書

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団 企業長 米沢 則寿 様

受注者 住所

氏名

工事名

当該工事の施工体制を、別紙のとおり定めたので関係書類を添付して報告します。

工 事 施 工 協 議 簿

									(第	回)
工	事 名									
件	名									
内	容									
□ 添 付 資										
【工事監								令和	年	月 日
	項につい		□指示、	□承諾、	□協議、	□ 通知、	受理	する。		
工事内	容の変更の対	け象と		しない。						
	中の本事の大	145・十フト、 か	4 D +b + 7	□ する。 た	たし、詳細に	ついては別途排	旨示する。			
		「家とするか、位	後日指示する。							
□ 特記事	項									
【受注		_	□ 了解しま	ı +		諾願います。		令和	年	月 日
上記事	項につい	C	□協議、	□提出、		告 します。				
□ 特記事	т百		l加 i我、	□ 挺山、	+ X	<u> </u>				
☐ 14㎡ →	4 9									
≢ 셛 ↓	₽ 2 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	人 回の亦更)	ァトス接流が	⊞ ∌l.h	并 汇统		合計見込額	ਤ	/#	: -17.
請負代金額 今回の変更による増減額			系計功	曽減額		1 /Ε	考			
		 局長	課長	係長	主任	 係	監督員		主任技術 考	現場代理人
確認欄	発注者	/ 川 / 区	陈 汉	水区	工匠	IN.	三 目 只	受注者	工工汉侧有	沙伽八姓八
7世7011利	元任日							文 任 日		

「内容」について、記載欄が不足する場合は別紙への記載を可能とする。

工事施工協議簿 別紙

	記載者	内	容	
協				
議				
事				
項				
合				
意				
事				
項				

使用機械一覧

機種	規格	台 数	使 用 工 種	排出ガス対策	その他
			(記入例)	(記入例)	
			土砂掘削	排対	
			岩盤掘削	浄化装置付	
			法面整形	非排対	
			路盤工締固め		

排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書

令和 年 月 日

(工事監督員) 様

(受注者名)	EI)

工事	名									
現場代理	人名									
機械	名		規格							
当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械を使用し、排出ガス浄化装置を装着するには資金不足のため										
	今後の使用方針 (例) 資金調達が出来次第、排出ガス浄化装置を設置する予定(1年後を予定)									
機 械	名		規格							
	当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場にないため									
(例)	今後の使用方針 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場に追加されしだい、 装着する予定									

課長	課長補佐	係長	主任

履行報告書

工事	事名											
エ	期	令和	年	月	目	から	令和	年	月	日	まで	
日	付	令和	年	月	日		(月分))		
月	別	(予定工) (.程 は工程	% 変更後		実施工程	%				
(記:	事欄)	-				-			•			

(作成上の注意)

- 1 報告は、原則毎月とし、工事監督員へ提出すること。
- 2 予定工程は、初回報告時に完成までの予定出来高累計を記入すること。
- 3 実施工程は、当該報告月までの出来高累計を記入すること。
- 4 計画と実施(赤色)を対比した工程表を添付すること。

送電線路付近工事協議書

														务	ě 行		月	日
エ	事	1/2	‡	名						打	合	せ	月	令和	年		月	日
工				期	令和	年	月	目	\sim		令和			年	月	月		
現	場	· 1	È	所														
送	電	í	泉	名			(電圧	k'	V)	支	持华	勿 N	О					
施	工	会	社	名						工	事 担	当	者					
連		絡		先	事業所	TEL				現:	場事	₮ 務	所	TEL				
発		注		元				担当	者					TEL				
協	議	出	席	者	(施工側)					協	議	場	所	北海道電	電力㈱帯	広電	力所	
氏				名	(北電側)					לנלו	哦	勿	ולז	送電	課 015	5 - 3	1 - 28	374

協議内容	

《終了確認》

当

《協議確認》

各	長	担当	協議者

位 置 図



1:50000

工事概要一覧

事業種別	工事箇所	水系•路河川名	橋梁名等
耐震補強工事	なかとかち浄水場 中札内村上札内西1線328番地	池棟(1系No.2)	

	当初	変 更
	耐震補強工	
エ	コンクリート増打ち 一式	
	あと施工せん断補強 一式	
事	内面防水塗装撤去·復旧 一式	
概		
要		

諸経費情報

主たる工種 構造物工事(浄水場等)

現場環境改善費(率分)計上区分 しない

施工地域補正補正無し

施工時期補正 補正あり: 0.99%(1級地 1.8)

真夏日率(工期期間の真夏日÷工期) 0

J:対象額(工期延長等時点の現場管理費対象純工事費) 0

N: 工期延長等日数(日) 0

R: 工期延長等土木一般世話役単価(円/日) 0

緊急工事補正しない

前払金割合による補正 35%を超えるもの

契約保証に係る補正 発注者が金銭的保証を必要とする場合

工事名 净水場池棟(1系No.2)耐震補強工事			事業区分主たる工種 構造物工事(浄水場等)工事区分施工地域 補正無し						
	+H +47	当初単位	工事区分)\\\\ /\\\\	<u> </u>	□ 施上地域 橋↓ 数量増減	上無し	क्षित सम	
工事区分・工種・種別・細別 耐震補強工事	規格	单位.	数量	単価	金額	 	金額増減	摘要	
		式							
		10	1						
耐震補強工			1						
11047300 11114500		式							
			1						
仮設工									
		式							
			1						
枠組足場									
		掛m2						単-1号	
元			420						
取壊工		式							
		IV.	1						
コンクリート切断	t=30mm		1						
- v /) 1 34 PM	C O'O'MM	m						単-2号	
			140					T 2.3	
コンクリート切断	t=100mm								
		m						単−3号	
			6						
コンクリート切断	t=250mm								
		m						単-4号	
) larger			1						
コンクリート切断	t=500mm))/ - H	
		m	10					単-5号	
コンクリート取壊し	人力、無筋構造物		10						
// 『収収し	八八、邢加帝坦彻	m3						単-6号	
		1110	3					7 0/3	
コンクリートはつり	t=30mm		0						
		m2						単-7号	
			87						
コンクリート殻屋外搬出	人力、無筋								
		t						単-8号	
			12.2					概数	

工事名 浄水場池棟(1系No.2)耐震補強工事			事業区分主たる工種 構造物工事(浄水場等)工事区分施工地域 補正無し						
	44.03	当初	工事区分))/ /#	<i>∧ #=</i>	施工地域 網川	Librard		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
コンクリート殻運搬	無筋、D=9.5km	0						W 0 H	
		m3	5					単-9号	
コンクリート殻処分	 無筋		9						
20/1 下放及2月		t						単-10号	
		C	12.2					概数	
コンクリート工			1212					196.90	
		式							
			1						
鉄筋工	D25 SD345								
		t						単-11号	
			1.2						
鉄筋工	D22 SD345								
		t	0.1					単-12号	
鉄筋工	D13 SD345		0.1						
实行力 工	עוס 5עט4ס	+						単-13号	
		ľ	0.7					₽-13万	
あと施工樹脂アンカー	樹脂アンカー D25用 下	7	0.1						
	向き 穿孔長 (ϕ 34							単−14号	
	L320)		68					1 3	
あと施工樹脂アンカー	樹脂アンカー D22用 下								
	向き 穿孔長 (φ30	× 本						単−15 号	
	L270)		12						
あと施工樹脂アンカー	樹脂アンカー D13用 植								
	向き 穿孔長 (φ16 L120)	× 本						単-16号	
和九工			1,030						
型枠工	小型構造物	m ?						出 17日	
		m2	87					単-17号	
コンクリート打設	RC-4 (24-12-25)		01						
	NO 1 (21 12 20)	m3						単-18号	
		15	18					7 107	
コンクリート打設	C-4 (18-8-40)								
		m3						単-19号	
			1						

二事名 浄水場池棟(1系No.2)耐震補強工事		当 初	事業区分	主たる工種 構造物工事(浄水場等)						
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	工事区分 数量	施工地域 補正無し 単価 金額 数量増減 金額増減						
コンケリート空積割増	双伦	中亚		- 早畑	並領	数里垣 侧	並領境例	摘要		
コングリート全人負責し指		m3						単-20号		
		IIIO	2					平-20万		
あと施工せん断補強筋			2							
なり こ 旭二、 ピイレ 時 「雨 5年が)		式								
		1	1							
あと施工せん断補強筋	無機系モルタルカフ°セル D16		-							
6) C NO 21 C 10 PT 111 32 1/2	L=400	本						単-21号		
		'	270					1 21 3		
内面処理工										
		式								
			1							
既設内面防水塗装撤去										
		m2						単-22号		
			130							
産業廃棄物運搬	建設混合廃棄物 D=41									
	km	t						単-23号		
			0.1					概数		
産業廃棄物処分	建設混合廃棄物									
		t						単-24号		
			0.1					概数		
内面防水塗装復旧										
		m2						単-25号		
/			130							
付帯設備工										
		式								
h= 7° 4th +	1 5 100		1							
タラップ 撤去	L=5, 100mm	個所						₩ 00 □		
		10月7万	2					単-26号		
タラップ設置	L=5, 100mm		4							
7/)/	L-0, 100IIIII	個所						単-27号		
		凹刀	2					甲-21万		
整流孔	VP φ 50		4							
ᆂᄱ	νι ψου	m						単-28号		
		111	77					平 20 万		

工事名 浄水場池棟(1系No.2)耐震補強工事			事業区分	主たる工種 構造物工事(浄水場等)						
	1917	当初	工事区分	施工地域(補正無し						
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要		
整流孔	VPソケット φ 50	/m))/ 00 H		
		個	384					単-29号		
攪拌設備撤去·再設置	攪拌翼 4面/基×4基		384							
1見)十段 (哺) 散五 "	見計典 4四/至八4至	式						単-30号		
			1					4 30 7		
直接工事費			_							
		式								
			1							
共通仮設										
		式								
II Not to a single			1							
共通仮設費		_1>								
		式	1							
技術管理費			1							
1次附目垤負		式						内-1号		
		14	1					F1-1-5		
鉄筋探査	非破壊試験(電磁波レー		1							
	身*)	m2						単-31号		
			102					, -		
共通仮設費(率計上)										
		式								
			1							
純工事費										
		式	1							
現場管理費			1							
· 汽物 目 - 任 頁		式								
		14	1							
工事原価			1							
		式								
			1							
一般管理費等										
		式								
			1							

設計内訳書

工事名 浄水場池棟(1系No.2)耐震補強工事		当 初	事業区分			主たる工種構造	告物工事(浄水場等 = 無〕	=)
工事区分・工種・種別・細別		単位	工事区分 数量	単価	金額	施工地域 補工 数量増減	金額増減	摘要
工事価格	みだれば	+1111	数里	- 平Щ	业积	数里·时吸	亚识坦枫]向女
J		式						
			1					
消費税相当額								
		式						
工事費計			1					
<u></u> 上尹其訂		式						
		10	1					

一式当たり内訳書

# 1 B ## A	e Att ru ab					単価適用年月日						
内-1号 技術	「管理費					歩掛適用年月日						
	規格/条件	単位	文量 単価	金額	数量増減	労務調整-超過-規制 金額増減	 摘要					
数筋探査	非破壊試験(電磁波レーダ)	平位 多	(里 平11111	並 領	数里垣 侧	並領垣側	100分					
奶加水豆.		m2										
							単-31号					
			102									

上段から 既契約数量/出来高数量/出来高累計/前回残工事/今回残工事

単−1号	規格				歩	単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
枠組足場		単位	掛m2	数量	1	単価			
足場設置・撤去	規格/条件	単位 掛m2	数量	1	単価		金額	摘要 代-1号	

単−2号 名称	規格	Ī			步	単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
コンクリート切断	t=30mm	単位	1	数量	1	単価			
名称 舗装版切断	規格/条件 コンクリート舗装版 Co:15cm以下	単位 m	数量	上	単価		金額	摘要	

-3号 名称 規格						価適用年。 掛適用年。 務調整-超	月	
	t=100mm	単位	n	数量	1	単価		
名称 舗装版切断	規格/条件 コンクリート舗装版 Co:15cm以下	単位 m	数量	量 1	単価		金額	摘要 代−2号

単価適用年月 歩掛適用年月 名称 規格 労務調整-超過-規制 コンクリート切断 t=250mm m 単位 数量 単価 規格/条件 単位 数量 単価 名称 金額 摘要 舗装版切断 コンクリート舗装版 Co:15cmを超え30cm以下 m 代-3号

単価適用年月 歩掛適用年月 名称 規格 労務調整-超過-規制 コンクリート切断 t=500mm m 単位 数量 単価 規格/条件 単位 数量 単価 名称 金額 摘要 舗装版切断 コンクリート舗装版 Co:15cmを超え30cm以下 m 代-3号 2

単-6号 名称	規格	I			歩	単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
コンクリート取壊し	人力、無筋構造物	単位	m3	数量	1	単価			
名称 構造物とりこわし	規格/条件 無筋構造物 人力施工 制約無 夜間無 週休2 日補正:4週8休以上	単位 m3	数1	<u></u> 量	単価		金額	摘要代-4号	

単-7号 名称	規格				步	単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
コンクリートはつり	t=30mm	単位	2	数量	1	単価			
名称 コンクリートはつり	規格/条件 t=30mm 支障物あり	単位 m2	数值	<u></u> 量	単価		 金額	摘要 代-5号	

単-8号 名称 規格						価適用年。 掛適用年。 務調整-超	月	
コンクリート殻屋外搬出	人力、無筋	単位		数量	1	単価		
名称 殼運搬(人力屋外搬出)	規格/条件 集積積込·運搬·取卸	単位 t	数量	1	単価		金額	摘要 代-6号

単-9号 名称	規格	1			歩	単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
	無筋、D=9.5km	単位	m3	数量	1	単価	200 /9UIP		
名称 ダンプトラック運搬(人力積込)	規格/条件 コンクリート殻(無筋) DID無し 11.0km以下 良好	単位 m3	数量	1	単価		金額	摘要代-7号	

単-10号 名称	規格	Ī				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
コンクリート殻処分	無筋	単位		数量	1	単価			
名称	規格/条件	単位	数量	量	単価		金額	摘要	
コンクリート塊受入費(十勝管内一円)	無筋コンクリート	t		1				地方資材単価	

単-11号	名称	規格				步	単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
鉄筋工		D25 SD345	単位		数量	1	単価				
鉄筋工[市場単価]	名称	規格/条件 SD345·D16~D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以 上	単位 t	数量	1	単価		金額	摘要代-8号		

単-12号 名称	規格	1				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
鉄筋工	D22 SD345	単位		数量	1	単価			
名称	規格/条件	単位	数量	量 量	単価		<u></u> 金額	摘要	
鉄筋工[市場単価]	SD345・D16 ² D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以 上			1				代-9号	

単−13号 名称	規格	1			歩	価適用年。 掛適用年。 務調整-超	月	
	D13 SD345	単位		数量	1	単価	200 7951113	
	規格/条件 SD345·D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間 無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 補 正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以上	単位 t	数量	1	単価		金額	摘要 代-10号

単−14号	2011									
	1001	7			歩	単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
	規格				労	務調整−起	≦過−規制			
あと施工樹脂アンカー	樹脂アンカー D25用 下向き 穿孔長(φ34× L320)	本								
		単位		数量	1	単価				
	規格/条件	単位	数量	量	単価		金額	摘要		
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)		→ ,								
		孔		1				代-11号		
アンカー	25mm以下 下方向									
		本		1				代-12号		
ケミカルアンカー R-25N	径24.5×L265mm ガラス管	本								
				1				刊行物単価		
		1								

単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制 名称 規格 樹脂アンカー D22用 下向き 穿孔長(φ30× あと施工樹脂アンカー 本 L270) 単位 数量 単価 単位 単価 規格/条件 数量 摘要 名称 金額 コンクリート削孔(電動ハンマト゛リル) 孔 代-11号 アンカー 25mm以下 下方向 代-12号 径22×L198mm ガラス管 ケミカルアンカー R-22N 本 1 刊行物単価

単−16号									
T 10.7					単步	単価適用年月 歩掛適用年月			
名称	規格	1				務調整-超			
あと施工樹脂アンカー	樹脂アンカー D13用 横向き 穿孔長(φ16× L120)	4	Ž		1	47 MILE 76	79LIII		
		単位		数量		単価			
名称	規格/条件	単位	数量	 型 型	単価		金額	摘要	
コンクリート削孔(電動ハンマト゛リル)									
		孔		1				代-11号	
アンカー	25mm以下 横方向	本							
				1				代-13号	
E2447/4 D 10M	径13×L83mm ガラス管								
ケミカルアンカー R-12N	全13×L83mm ル ///官	本		1					
				-				刊行物単価	

単価適用年月 歩掛適用年月 名称 労務調整-超過-規制 規格 小型構造物 型枠工 m2 単位 数量 単価 単位 数量 単価 名称 規格/条件 金額 摘要 型枠工 小型構造物 製作加工~組立設置~解体撤去 代-14号

単-18号 名称	規格	I			力	単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制		
コンクリート打設	RC-4 (24-12-25)	単位	n3	数量	1	単価	202 /95/173	
全	規格/条件	単位	数量	<u> </u>	単価		 金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 コンクリートポ ンプ 車打設 24-12-25(20)(普通)生コンクリート小型車割増無 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	m3		1				代-15号
圧送管組立・撤去	延長分50m	m3		1				代-17号

単-19号 名称	規格	Ī			歩	価適用年。 掛適用年。 務調整-超		
	C-4(18-8-40)	単位	m3	数量	1	単価		
名称 人力打設	規格/条件 小型構造物 現場内小運搬90m 一般養生含	単位 m3	数量	量 1	単価		金額	摘要 代-18号

単-20号 名称	規格	I			歩	価適用年。 掛適用年。 務調整-超	月	
コンクリート空積割増	790111	単位	m3	数量	1	単価	295117	
名称	規格/条件	単位	数量	e E	単価		金額	摘要
生コンクリート(帯広ゾーン)	空積割増 1台の積載量が3m3未満	m3		1				地方資材単価

単-21号 名称	規格	1			歩	価適用年 掛適用年	月 月 迢過-規制	
あと施工せん断補強筋	無機系モルタルカプ・セル D16 L=400	単位	Ž	数量	1	単価	2.00 /5/11/19	
名称 あと施工せん断補強工	規格/条件 無機系モルタルアンカー D16 L=400	単位本	数量	上 1	単価		 金額	摘要 代-19号

単-22号 名称	規格	I			歩	価適用年 掛適用年 務調整-超	月 月 舀過-規制	
既設内面防水塗装撤去	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	単位	m2	数量	1	単価		
名称 既設内面防水撤去	規格/条件 サンタ゛ーケレン t ≤ 0.5mm	単位 m2	数量	量 1	単価		金額	摘要 代-20号

単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制 名称 規格 産業廃棄物運搬 建設混合廃棄物 D=41km 1 単位 数量 単価 単位 単価 規格/条件 数量 名称 金額 摘要 殼運搬 (人力屋外搬出) 集積積込·運搬·取卸 代-6号 現場発生品及び支給品運搬 トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間無し 43.0km以下 代-21号

単-24号 名称	規格	1			步	価適用年 掛適用年 務調整-超	月	
産業廃棄物処分	建設混合廃棄物	t 単位		数量	1	単価		
名称	規格/条件	単位	数量	上 里	単価		金額	摘要
タナベ(中間処理) 帯広市西23条北4丁目1-2	建設廃材・廃プラスチック類・ゴムくず・ガラス・陶器くず・木くず・抜根等・建設混合廃棄物 石膏ボード・畳・繊維くず 循環税相当額	t		1				地方資材単価
タナベ(中間処理) 帯広市西23条北4丁目1-2	建設混合廃棄物	t		1				地方資材単価

単-25号 名称	規格	1			歩	西適用年 <i>)</i> 卦適用年 <i>)</i> 努調整-超	Ħ	代-23号	
内面防水塗装復旧	УУСТИ	単位	2	数量	1	単価	- 79UIP		
	規格/条件	単位	数量	<u>.</u>	単価		 金額	摘更	
下地処理工	WIHZ ATT	m2	3/12	1	(Jul		312. HX	代-22号	
素地調整工	JWWA K-143 材工共	m2		1				代-23号	
下塗工	JWWA K-143 材工共	m2		1				代-24号	
上塗工	JWWA K-143 材工共	m2		1				代-25号	

単-26号 名称	規格	1			歩	価適用年。 掛適用年。 務調整-超	月	
タラップ撤去	L=5,100mm	単位	固所	数量	1	単価	,,,,,,	
名称 足掛金物撤去	規格/条件	単位 本	数量	19	単価		金額	摘要 代-26号

単価適用年月 歩掛適用年月 名称 労務調整-超過-規制 規格 タラップ。設置 L=5,100mm 個所 単位 数量 単価 単位 単価 規格/条件 数量 名称 金額 摘要 足掛金物18本(設置間隔17段) サイドポール延長 タラップ(グリップアンカー仕様) 5, 100mm 見積策定単価 タラップ゜(グリップアンカー仕様) 足掛金物のみ 見積策定単価 足掛金物設置 本 代-28号 19

単-28号 名称	規格			歩	価適用年月 掛適用年月 務調整-超過		
整流孔	VP φ 50	単位	数量	1	単価	9 /yLip	
	規格/条件	単位	数量	単価	全	:額	摘要
硬質ポリ塩化ビニル管 水道管(VP)	呼び径50 60×4.5mm×5m	m	1	7-1144	312		刊行物単価
硬質塩化ビニル管切断	呼び径50mm	П	4				代-29号

単-29号 名称	規格	7			歩	価適用年。 掛適用年。 務調整-超	月	
整流孔	VP ¹ / ₇ / _γ ν φ 50	単位	<u> </u>	数量	1	単価		
名称	規格/条件	単位	数量	<u></u> 量	単価		 金額	摘要
水道用硬質ポリ塩ビ管TS継手 ソケット	呼び径50mm	個		1	1 11000			刊行物単価
硬質塩化ビニル管TS継手工 据付	呼び径50mm	個		1				代-30号

単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制 名称 規格 攪拌設備撤去·再設置 攪拌翼 4面/基×4基 式 単位 数量 単価 単位 数量 単価 名称 規格/条件 金額 摘要 回転翼撤去 4面/基×4基 式 代-31号 回転翼再設置 4面/基×4基 式 代-32号 通り芯調整・試運転 式 代-33号 1

単-31号 名称	規格	1				単価適用年。 歩掛適用年。 労務調整-超	月	
鉄筋探査	非破壞試験(電磁波レータ)	単位	2	数量	12.5	単価		
名称	規格/条件	単位	数量	<u> </u>	単価		金額	摘要
技師(A)(外業)		人		1				
技師(B)(外業)		人		2				
技師(C)(外業)		人		2				
諸雑費		%		5				諸雑費

代-1号 名称	規格					単価適用年 歩掛適用年 労務調整-	三月	
足場設置・撤去		単位	卦 m2	数量	400	単価		
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位 人	数量	<u></u> 金 6.67	単価		金額	摘要
特殊作業員		人		44.67				
普通作業員		人		8.67				
諸雑費		%		32				諸雑費

名称	ジャー (- / JA (- /)	1		歩	面適用年 <i>〕</i> 掛適用年 <i>〕</i> 勢調整−超	1	
構造物とりこわし	無筋構造物 人力施工 制約無 夜間無 週休2日 補正:4週8休以上	m3 単位	数量	1	単価		
名称	4F 46 / 7 (4L		数量	単価		 金額	Actor page
海が 構造物とりこわし工 昼間施工[手間のみ]	規格/条件 無筋構造物 人力施工 制約なし	m3	<u> </u>	- 単個	· ·	並 領	摘要
諸雄費			1				刊行物単価
		式	1				調整金

代-5号 名称	規格	1				単価適用年 歩掛適用年 労務調整-	F 月	
コンクリートはつり	t=30mm 支障物あり	単位	2	数量	87	単価		
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位人	数量	3.67	単価		金額	摘要
特殊作業員		人		15.67				
普通作業員		人		11.67				
空気圧縮機運転費		日		5				機械-1号
諸雑費		%		1				諸雑費

名称	規格	7				単価適用年 歩掛適用年 労務調整-よ	月	
設運搬(人力屋外搬出)	集積積込·運搬·取卸	単位		数量	12	単価	200 70007	
名称 普通作業員	規格/条件	単位 人	数量	全1.67	単価		金額	摘要
諸維費		%		7				諸雑費

					歩掛適用年月		
名称	規格				労務調整-超		
ダンプトラック運搬(人力積込)	コンクリート殻(無筋) DID無し 11.0km以下 良好	m3 単位	数量	10	単価		
名称	規格/条件	単位数	数量	単価	Ś	金額	摘要
ダンプトラック 良好	オンロート、・テ、ィーセ、ル・積載質量2t積級	Ħ	2.3				機械-2号
諸雄費		式	1				調整金

単価適用年月

					歩掛適用年		
名称	規格				労務調整-超		
鉄筋工[市場単価]	SD345・D16~D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 シネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以上	t 単位	数量	1	単価		
	規格/条件	単位	数量	単価		金額	摘要
異形棒鋼 SD345	D25mm 3.98kg/m	t	1.03				刊行物単価
鉄筋工	加工·組立共 一般構造物	t	1				刊行物単価
諸雄費		式	1				調整金

単価適用年月

					歩掛適用年月	
名称	規格	1			労務調整-超過-規制	
鉄筋工[市場単価]	SD345・D16~D25 一般構造物 10t未満 制約無夜間無トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無)補正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以上	t 単位	数量	1	単価	
名称	規格/条件	単位数	量	単価	金額	摘要
異形棒鋼 SD345	D22mm 3.04kg/m	t	1.03			刊行物単価
	加工·組立共 一般構造物	t	1			刊行物単価
諸 雑 費		式	1			調整金

単価適用年月

代-10号	> \ > \ \ > \ \ \ > \ \ \ \ \ \ \ \ \ \							
		_				単価適用年, 歩掛適用年,	月	
名称	規格					労務調整-超	四過-規制	
鉄筋工[市場単価]	SD345・D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以上	世位		数量	1	単価	7,011	
	規格/条件	単位	数量	<u></u> 主 里	単価		金額	摘要
鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D13							
		t		1.03				刊行物単価
鉄筋工	加工·組立共 一般構造物							
		t		1				
								刊行物単価
諸雄費		式						
				1				調整金

代-14号 名称	規格	1				単価適用年 歩掛適用年 労務調整-	三月	
型枠工	小型構造物 製作加工〜組立設置〜解体撤去	単位	12	数量	87	単価		
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位 人	数量	3.67	単価		金額	摘要
型わく工		人		25.33				
普通作業員		人		11.67				
諸雑費		%		15				諸雑費

単価適用年月 歩掛適用年月 名称 労務調整-超過-規制 規格 生コンクリート |24-12-25(20)(普通) 生コンクリート小型車割増無 m3 単位 数量 単価 単位 単価 名称 規格/条件 数量 金額 摘要 RC-4 普通ポルトランド 24-12-20(25) C=280 AE 生コンクリート 剤使用 m3 地方資材単価

代-17号 名称	規格	1				単価適用年 歩掛適用年 労務調整-あ	月	
圧送管組立・撤去	延長分50m	単位	13	数量	18	単価		
名称 普通作業員	規格/条件	単位 人	数1	2.67	単価		金額	摘要
諸 雑 費		式		1				調整金

代-18号 名称	規格]			歩	価適用年。 掛適用年。 務調整-超	月	
人力打設	小型構造物 現場内小運搬90m 一般養生含	m 単位	3	数量	1	単価		
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位人	数量	1.13	単価		金額	摘要
特殊作業員		人		1.13				
普通作業員		人		5.17				
(普通AE剤) 生コンクリート (帯広グ・ーン)	C-4 18-5-40	m3		1.06				地方資材単価
諸雑費		%		4				諸雑費

代-19号 名称	規格	1			単価適用年 歩掛適用年 労務調整-起	月	
あと施工せん断補強工	無機系モルタルアンカー D16 L=400	本			刀伤帆距风		
		単位	数量	15	単価		
全	規格/条件	単位	数量	単価		金額	摘要
土木一般世話役	が作/末円	人	<u>如果</u> 1	半皿		业界	加女
特殊作業員		Д	2				
普通作業員		Д	1				
あと施工せん断補強筋	D16 鉄筋長400mm	本	15				
諸雑費		%	34				諸雑費

名称	規格	1				単価適用年 歩掛適用年 労務調整-超	月	
既設内面防水撤去	サンターケレン t≤0.5mm	単位	n2	数量	130	単価		
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位人	数量	量 4	単価		金額	摘要
特殊作業員		人		13				
普通作業員		人		5				
諸雑費		%		20				諸維費

代-22号 名称	規格	1				単価適用年 歩掛適用年 労務調整-よ	月	
下地处理工	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	単位	n2	数量	130	単価		
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位 人	数量	上 1	単価		金額	摘要
特殊作業員		人		2				
普通作業員		人		1.67				
諸雑費		%		20				諸雑費

代-23号 名称	規格	1				単価適用 ⁴ 歩掛適用 ⁴ 労務調整-	∓月 ∓月 -超過-規制	
素地調整工	JWWA K-143 材工共	単位	a2	数量	130	単価		
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位 人	数量	量 4	単価		金額	摘要
特殊作業員		人		10.67				
普通作業員		人		8				
諸雑費		%		42				諸雑費

代-24号 名称	規格	1				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
下塗工	JWWA K-143 材工共	単位	2	数量	130		価	2 APLIES	
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位 人	数量	3.67	単価		金	額	摘要
特殊作業員		人		11.67					
普通作業員		人		7.67					
諸雑費		%		41					諸雑費

代-25号 名称	規格	1				単価適用年 歩掛適用年 労務調整-よ	月	
上塗工	JWWA K-143 材工共	単位	2	数量	130	単価	<u> </u>	
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位 人	数量	量 <u></u>	単価		金額	摘要
特殊作業員		人		3				
普通作業員		人		2.33				
諸雑費		%		49				諸雑費

単価適用年月 歩掛適用年月 名称 規格 労務調整-超過-規制 足掛金物撤去 本 単位 数量 単価 単位 数量 単価 名称 規格/条件 金額 摘要 足掛け金物取付け工 代-27号 0.5 諸 雑 費 式 調整金

代-27号 名称	規格	I			力	単価適用年。 歩掛適用年。 労務調整-超	月	
足掛け金物取付け工	ЖТ	単位	固	数量	1	単価	200 /yUlp	
名称 特殊作業員	規格/条件	単位 人	数量	0.05	単価		金額	摘要
普通作業員		人		0.05				

単価適用年月 歩掛適用年月 名称 規格 労務調整-超過-規制 足掛金物設置 本 単位 数量 単価 単位 数量 単価 名称 規格/条件 金額 摘要 足掛け金物取付け工 代-27号 諸 雑 費 式 調整金

代-29号 名称	規格	7				単価適用年。 歩掛適用年。 労務調整-超	月	
研質塩化ビニル管切断	所で 呼び径50mm	単位	П	数量	1	単価		
名称 配管工	規格/条件	単位 人	数:	0.01	単価		金額	摘要
普通作業員		人		0.01				
諸雑費		%		1				諸雑費

代-30号 名称	規格	٦				単価適用年 歩掛適用年 労務調整-起	月	
硬質塩化ビニル管TS継手工 据付	呼び径50mm	単位	5	数量	1	単価	2.00 %加	
名称 配管工	規格/条件	単位人	数量	0.04	単価		 金額	摘要
普通作業員		人		0.04				
諸維費		%		1				諸雑費

代-31号 名称	規格	1				単価適用年 歩掛適用年 労務調整-超	月	
回転翼撤去	4面/基×4基	単位	Ċ.	数量	1	単価	AND AND IN	
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位 人	数量	量 4	単価		金額	摘要
設備機械工		人		16				
諸雑費		%		15				諸雑費

代-32号 名称	規格	I			步	価適用年。 掛適用年。 務調整-超	月	
回転翼再設置	4面/基×4基	単位	式	数量	1	単価	7951113	
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位	数量	<u></u> 量	単価		金額	摘要
設備機械工		人		16				
諸雑費		%		15				諸雑費

代-33号 名称	規格	I			步	価適用年。 掛適用年。 務調整-超	月	
通り芯調整·試運転	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	単位	式	数量	1	単価		
名称 土木一般世話役	規格/条件	単位	数量	3	単価		金額	摘要
設備機械工		人		9				
諸雑費		%		15				諸雑費

代-2号		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制								
名称	規格				労 種	务調整−起	迢−規制			
舗装版切断	コンクリート舗装版 Co:15cm以下	単位	1	数量	1	単価				
名称	規格/条件	単位	構成	比率	単価		金額	摘要		
機械構成比率										
コンクリートカッタ	ハッキューム式・超低騒音型・湿式・深20cm・ブッレート。径 56cm	%								
労務構成比率										
特殊作業員		%								
土木一般世話役		%								

				単1 歩打	曲適用年 <i>。</i> 卦適用年 <i>。</i>	月 月		
名称	規格					努調整−起		
舗装版切断	コンクリート舗装版 Co:15cm以下	単位	m	数量	1	単価		
名称	規格/条件	単位	構成	比率	単価		金額	摘要
普通作業員		%						
材料構成比率								
コンクリートカッタフ゛レート゛	径45cm(18インチ) 自走式カッタ車用	%						
カ゛ソリン	レキ`ュラー	%						

代-3号		•			歩掛:	適用年月 適用年月	1	
 名称	規格				労務	調整-超	過-規制	
舗装版切断	コンクリート舗装版 Co:15cmを超え30cm以下	m 単位	数	1量		単価		
	規格/条件	単位	構成比率	i i	単価		金額	摘要
機械構成比率	が旧/ 米IT	77	117/00/2017		+- Im	_	11Z-11Z	加女
コンクリートカッタ	バキューム式・超低騒音型・湿式・深30cm・ブ [*] レート [*] 径75cm	%						
労務構成比率								
特殊作業員		%						
土木一般世話役		%						

代-3号 				歩	価適用年. 掛適用年.	月	
名称 舗装版切断	規格 コンクリート舗装版 Co:15cmを超え30cm以下			一	務調整−超	2過−規制	
胡表似切砌	コンクリート舗 装加 Co:13cmを超え30cm以下	m 単位	数量	1	単価		
	規格/条件	単位	構成比率	単価		金額	摘要
普通作業員	·	%	1件//火儿-字	平皿		· 立 (快	摘 安
材料構成比率							
コンクリートカッターフ。レート、	φ 75cm (304)/f)	%					
コンクリートカッターフ、レート、	φ 56cm (221/νf)	%					
コンクリートカッタ(フ゛レート゛)	径14インチ	%					

代-3号					歩持	西適用年 <i>)</i> 卦適用年 <i>)</i>	月	
名称 舗装版切断	規格 コンクリート舗装版 Co:15cmを超え30cm以下	m			労	务調整−超	過−規制	
		単位	数	(量	1	単価		
名称	規格/条件	単位	構成比率	玄	単価		<u></u> 金額	摘要
カ゛ソリン	ルギュラー	%	111111111111111111111111111111111111111	-	-1- іш		<u> </u>	加女

名称 規格 労務調整-超過-規制 プクリート削孔(電動ハンマト'リル) 孔 単位 数量 単価 単価 単価 指要 指要 単価 金額 指要			単価適用年月 歩掛適用年月						
全称 規格/条件 単位 構成比率 単価 金額 摘要 芳務構成比率 土木一般世話役 % 場 特殊作業員 場	名称	規格							
名称 規格/条件 単位 構成比率 単価 金額 摘要 芳務構成比率	コンクリート削孔(電動ハンマトブリル)			孔					
名称 規格/条件 単位 構成比率 単価 金額 摘要 芳務構成比率						1			
労務構成比率 土木一般世話役 特殊作業員			単位		数量	1	単価		
労務構成比率 土木一般世話役 特殊作業員									
労務構成比率 土木一般世話役 特殊作業員									
労務構成比率 土木一般世話役 特殊作業員		規格/条件	単位	構成	比率	単価		 金額	摘要
特殊作業員	労務構成比率	736187 21411		11477	,				11475
特殊作業員									
特殊作業員									
特殊作業員									
特殊作業員	土木一般世話役								
			%						
	特殊作業員								
			%						

		単価適用年月 <u>歩掛</u> 適用年月						
全 称	規格		T.	1		务調整−起		
アンカー	25mm以下 下方向	単位	本	数量	1	単価		
名称	規格/条件	単位	構成	比率	単価		金額	摘要
労務構成比率								
特殊作業員		%						
土木一般世話役		%						
普通作業員		%						

代-13号		単価適用年 歩掛適用年					月	
名称 アンカー	規格 25mm以下 横方向	本	•		一	务調整−超	强−規制	
		単位		数量	1	単価		
	規格/条件	単位	構成	比率	単価		 金額	摘要
労務構成比率								
特殊作業員		%						
土木一般世話役		%						
普通作業員		%						

代-15号			, ,	歩扫	西適用年月 卦適用年月	1	
名称 コンクリート	規格 無筋・鉄筋構造物 コンクリートホ°ンプ°車打設 24-12- 25(20)(普通)生コンクリート小型車割増無 10m3以上 100m3未満 一般養生 延長無し	単位	3 数量	1	务調整−超 単価	過-規制	
	規格/条件	単位	構成比率	単価	4	金額	摘要
機械構成比率	790117 2011	1 1-2-2	1177955	1 1000			199.54
コンクリートポ゚ンプ。車	トラック架装・ブーム式・圧送能力 90~110m3/h	%					
労務構成比率							
普通作業員		%					
土木一般世話役		%					

代-15号		_	, ,	歩	西適用年。 卦適用年。	月	
名称 コンクリート	規格 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ 車打設 24-12- 25(20)(普通)生コンクリート小型車割増無 10m3以上 100m3未満 一般養生 延長無し	M 単位	3 数量	1	多調整 - 赵 	II → 規制 — — — — — — — — — — — — — — — — — —	
	規格/条件	単位	構成比率	単価		金額	摘要
特殊作業員		%					
運転手(特殊)		%					
材料構成比率							
生コンクリート	24-12-25(20)(普通) 生コンクリート小型車割増無	%					代-16号
軽油		%					

						単価週用年 歩掛適用年		
名称	規格					労務調整−₺		
現場発生品及び支給品運搬	トラック[クレーン装置付]ペーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間無し 43.0km以下	単位		数量	1	単価		
名称	規格/条件	単位	構成	比率	単価		金額	摘要
機械構成比率								
h̄̄̄̄̄ȳ̄̄̄̄̄̄	クレーン装置付・積載質量 2t積・2.9t吊	%						
労務構成比率								
運転手(特殊)		%						
特殊作業員		%						

		□ 単価適用年月 □ 歩掛適用年月						
名称	規格						3過−規制	
現場発生品及び支給品運搬	トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間無し 43.0km以下	t	,		1			
		単位		数量		単価		
名称	規格/条件	単位	楼 d	沈比率	単価		金額	摘要
材料構成比率	放 恰/ 宋件	早1近	1円刀	(儿学	平1川		並似	個安
軽油		%						

規格					単価適用年/ 歩掛適用年/ 労務調整-超	月	
	単位		数量	1	単価		
規格/条件 n3/分 低騒音型	単位 基/日	数量	量 1	単価		金額	摘要
、型ローリー 4KL積載車	L		21				
	式		1				調整金
	規格/条件 3/分 低騒音型 型ローリー 4KL積載車	規格/条件 現格/条件 単位 3/分 低騒音型 基/日	関係	単位 数量 数量 3/分 低騒音型 基/日 1 1 21 式	単位 数量 1 数量 単価 3/分 低騒音型 基/日 1 1 1 1 1 1 1 1 1	単位 数量 単価 単価 数量 単価 3/分 低騒音型 基/日 1 1 1 1 1 1 1 1 1	単位 数量 単価 規格/条件 単位 数量 単価 金額 3/分 低騒音型 基/日 1 型ローリー 4KL積載車 L 21 式 式

機械-2号				歩	価適用年月 掛適用年月	
名称 ダンプトラック 良好	規格 オンロート・・ディーセット・積載質量2t積級			第	務調整-超過-規制	
		単位	数量	1	単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(一般)		Д	1			
軽油		L	25			
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル・積載質量2t積級	供用日	1.17			
タイヤ損耗費及び補修費	2~3t積級 良好 供用日	供用日	1.17			
諸 雑 費		式	1			調整金

建設リサイクル法に関する解体工事費用調書

費用区分	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
解体費							
	舗装版切断	コンクリート舗装版 Co:15cm以下	m			È	単−2号
	舗装版切断	コンクリート舗装版 Co:15cm以下	m	140		È	単−3号
	舗装版切断	コンクリート舗装版 Co:15cmを超え30cm以下	100	6		j.	¥-4号
			m	1		E	ド サク
	舗装版切断	コンクリート舗装版 Co:15cmを超え30cm以下	m			È	単-5号
	構造物とりこわし	無筋構造物 人力施工 制約無 夜間無 週休2日補正:4週8休以上	m3	3		È	
	コンクリートはつり	t=30mm 支障物あり	m2			È	¥-7号
	殼運搬(人力屋外搬出)	集積積込·運搬·取卸	t	87		È	単−8号
解体費計				12.2			

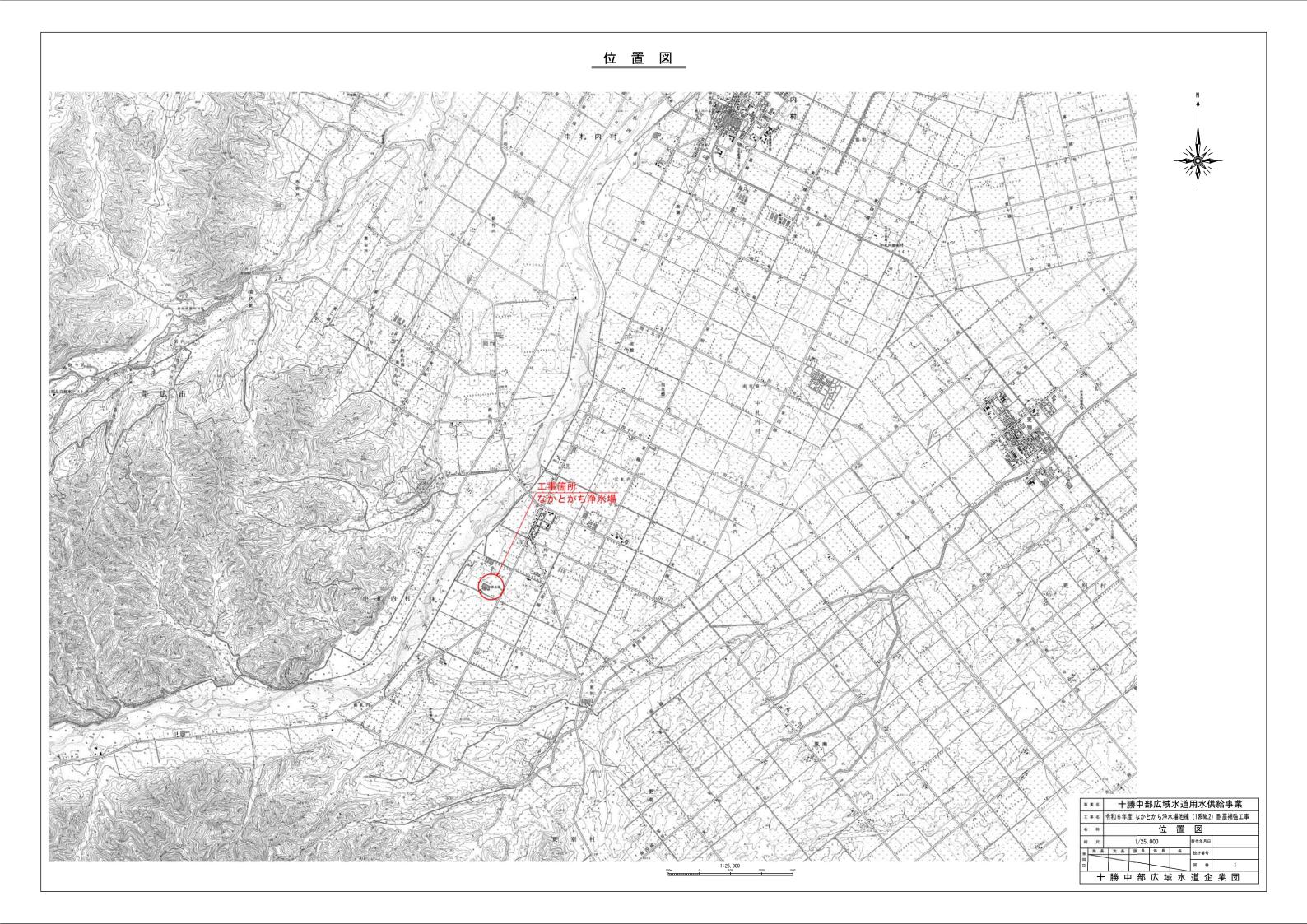
建設リサイクル法に関する再資源化等費用調書

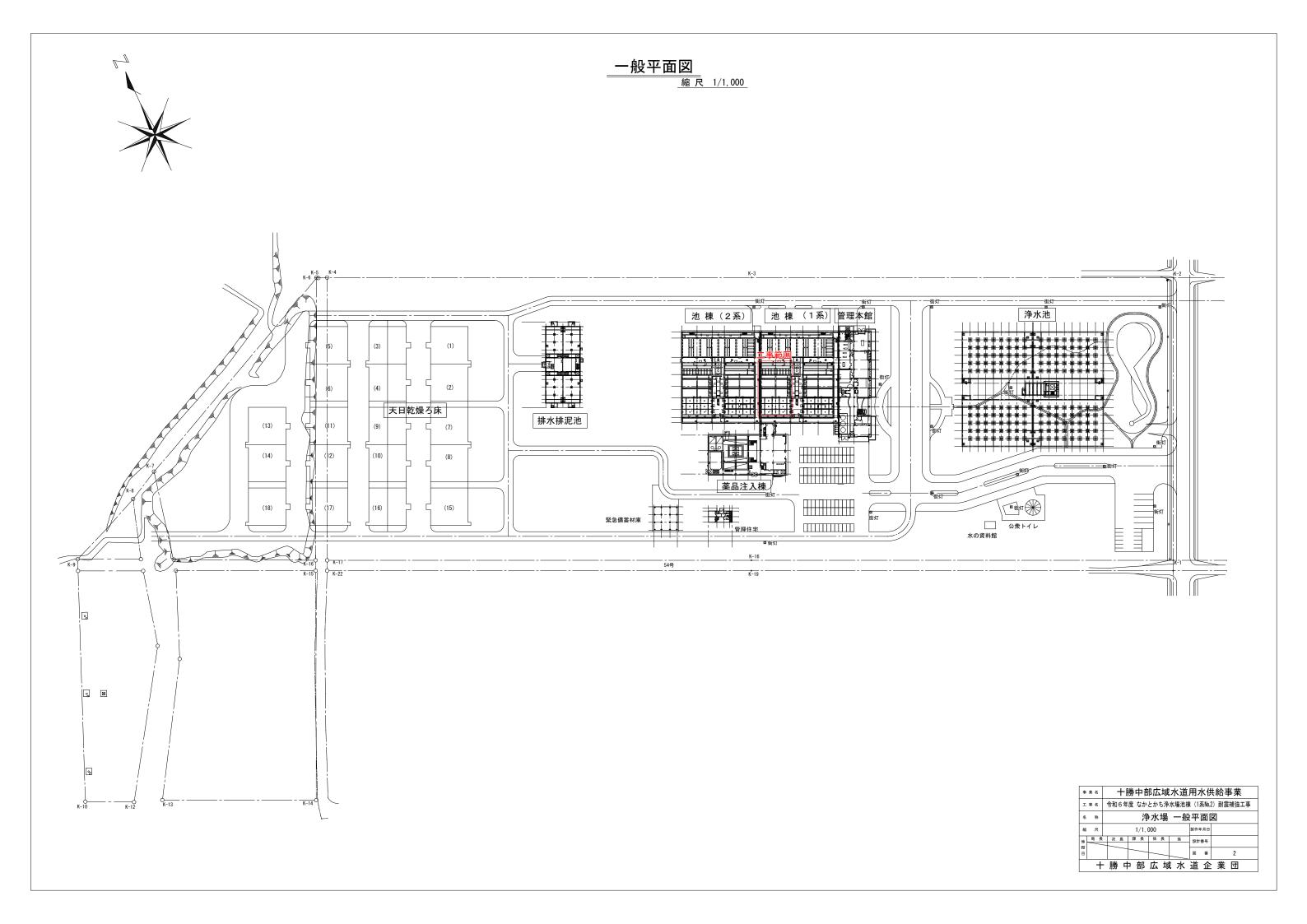
費用区分	名 称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬費							
	ダンプトラック運搬(人力積込)	コンクリート殼(無筋) DID無し 11.0km以下	良好 m3				単-9号
				5			
運搬費計				J			
処分費							
	コンクリート塊受入費(十勝管内一円)	無筋コンクリート	t				単-10号
処分費計				12.2			
之为 英 时							

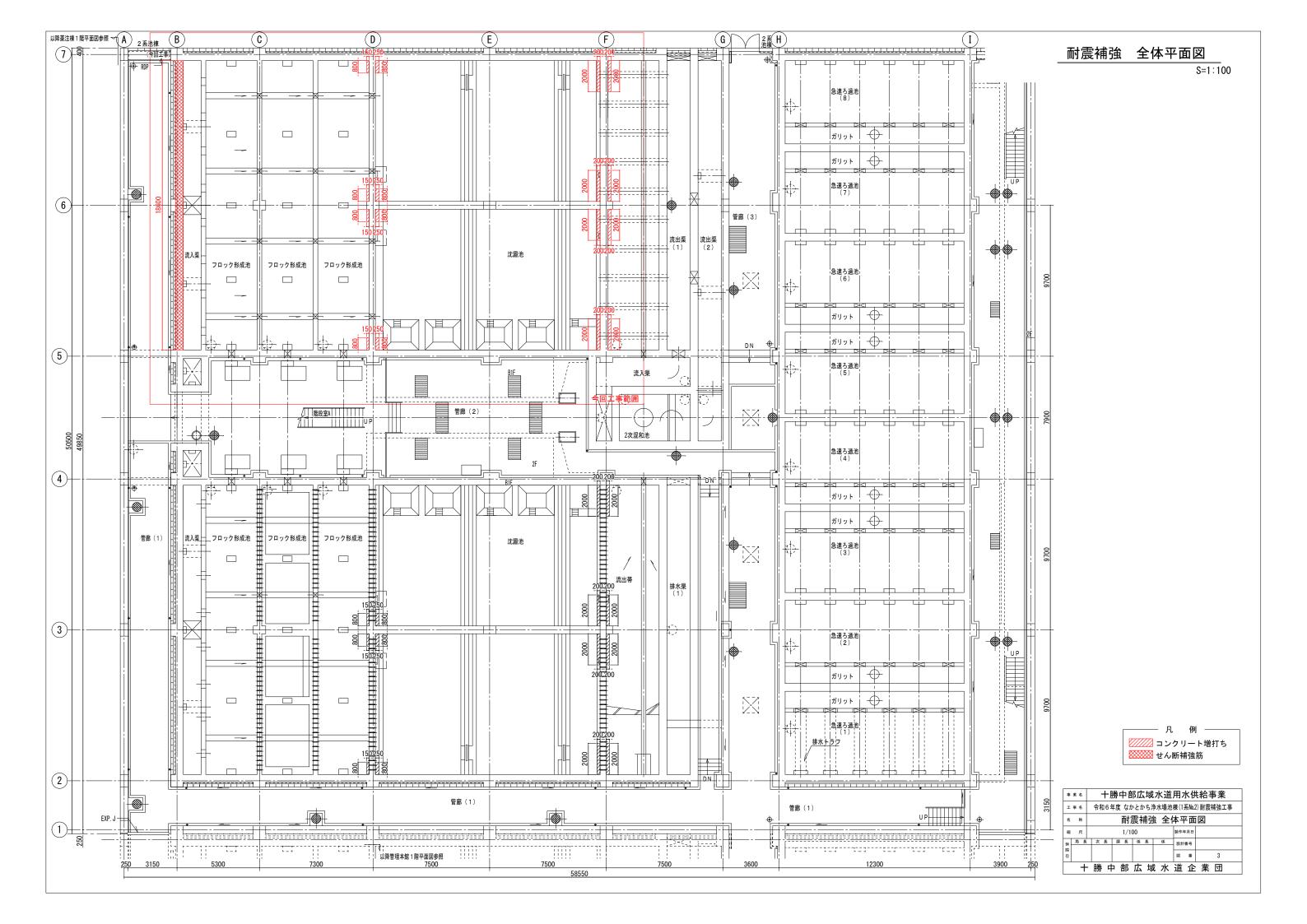
令和6年度 なかとかち浄水場池棟(1系No.2) 耐震補強工事

設 計 図

十勝中部広域水道企業団



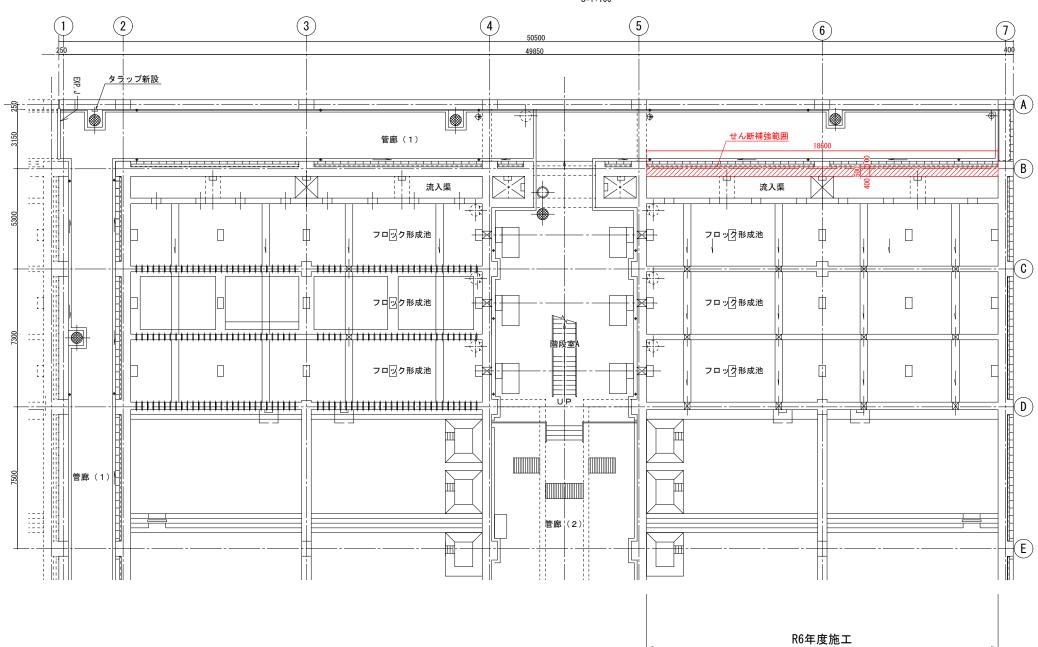




池棟(管廊部) 耐震補強図(その1)

管廊側壁補強図 S=1:100

補強範囲平面図 S=1:100

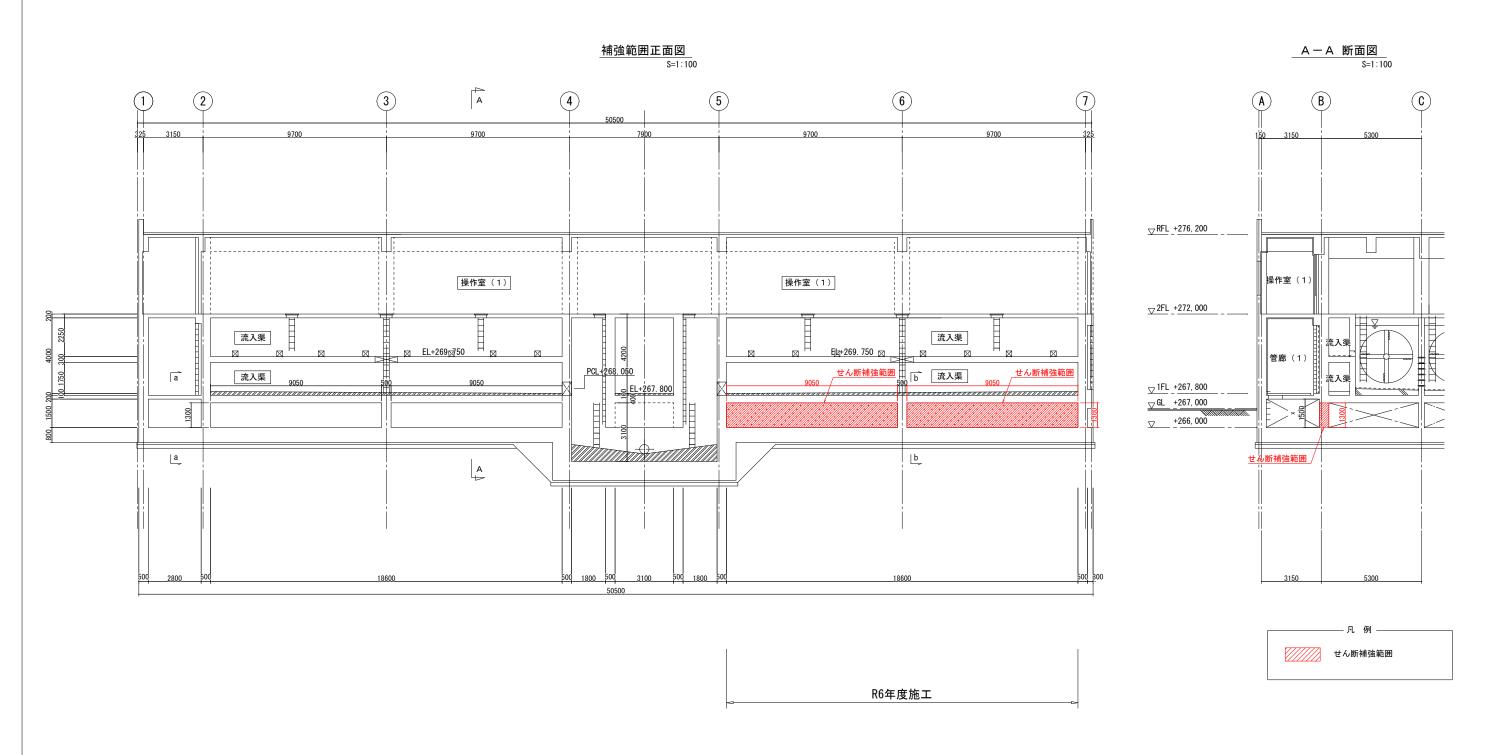




*	業名	十勝中部広域水道用水供給事業					
I	事名	令和6年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事					
名	称	池棟(管廊部) 耐震補強図(その1)					
縮	尺	1/100 製作年月日					
崇	局長	次長 課長 係長 係 設計番号					
認印		⊠ # 4					
	+	勝中部広域水道企業団					

池棟(管廊部) 耐震補強図(その2)

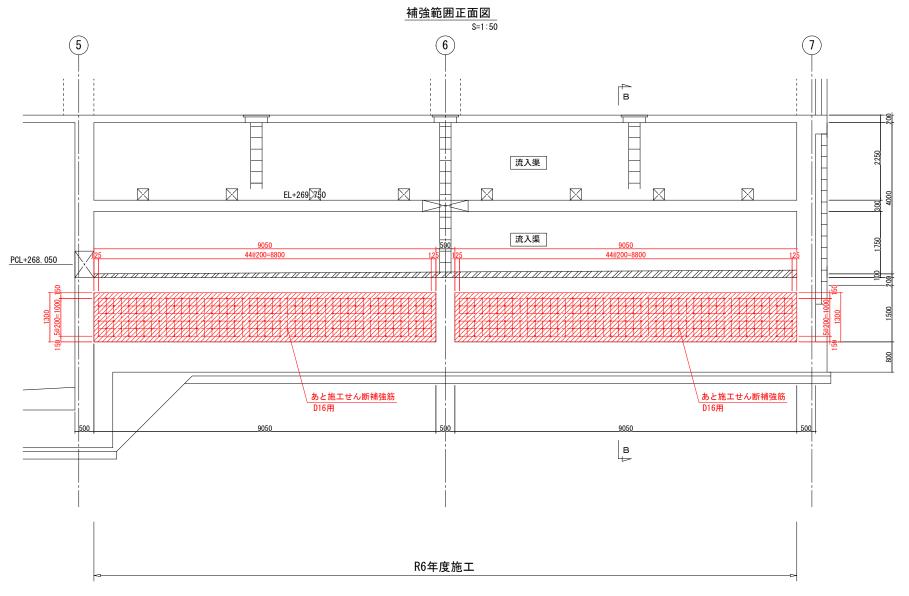
管廊側壁補強図 S=1:100

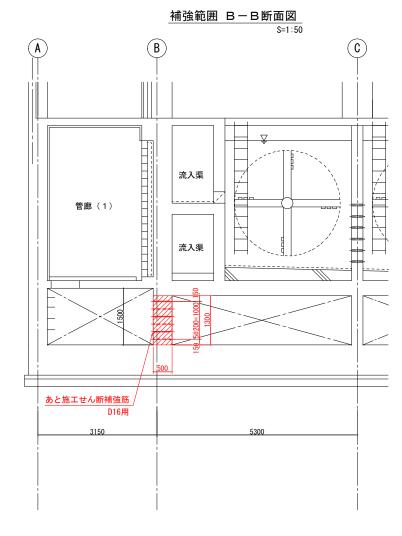


事業名	十勝中部広域水道用水供給事業
工事名	令和6年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事
名 称	池棟(管廊部) 耐震補強図(その2)
縮尺	1/50, 1/100 製作年月日
当 局 長	次長課長係長係設計番号
部	⊠ # 5
+	- 勝中部広域水道企業団

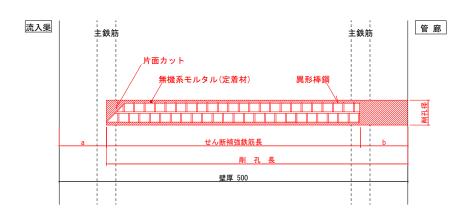
池棟(管廊部) 耐震補強図(その4)

管廊側壁補強図 S=1:50





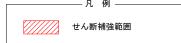
あと施工せん断補強筋詳細図 Non Scale



部材名	部材厚(mm)	背面側 かぶりa(mm)	差込側 かぶりb(mm)	削孔長(mm)	削孔径(mm)	鉄筋径	鉄筋長(mm)	本数	施工向き
管廊側壁	500	50	50	450	22	D16	400	270	横向き

※注 記

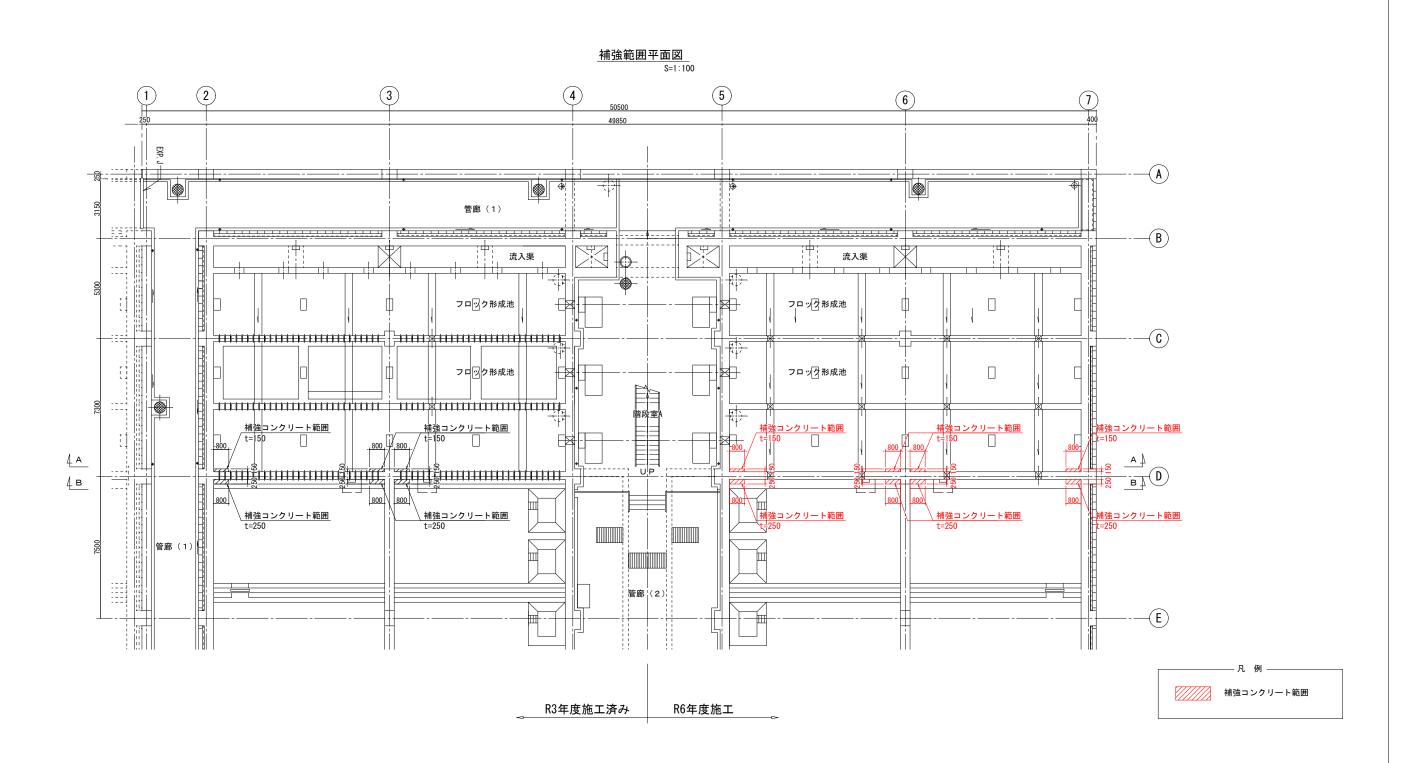
- 1) 背面側からせん断補強鉄筋の先端までの距離(図中の a)は、背面側の主鉄筋の中心と同じとする。 ただし、紙チューブ式無機系アンカー は、背面側の主鉄筋のかぶりが50mm以上の場合に適用する。
- これは、施工上の押し抜けを防止する観点から50mm以上を確保する必要があるからである。
- 2) 差込側からせん断補強鉄筋の後端までの距離(図中の b) は、差込側の主鉄筋の中心と同じとする。 3) 水に接する面に注入する充填材は、厚生省令第15号または、JWWAZ108等に適合した材料とする。 また、あと施工せん断補強筋の充填材との付着性及び充填材が浸出しないことを確認された材料とする。



事	業名	十勝中	十勝中部広域水道用水供給事業							
I	事名	令和6年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事								
名	韓	池棟(管廊部) 耐震補強図(その4)								
縮	尺	1/50, N	NONE SCALE	製作年月日						
崇	局長	次長課	長 係 長 係	設計番号						
133				⊠ # 6						
	+	勝中部	邓広域水	道企業団						

池棟(フロック形成池) 耐震補強図(その1)

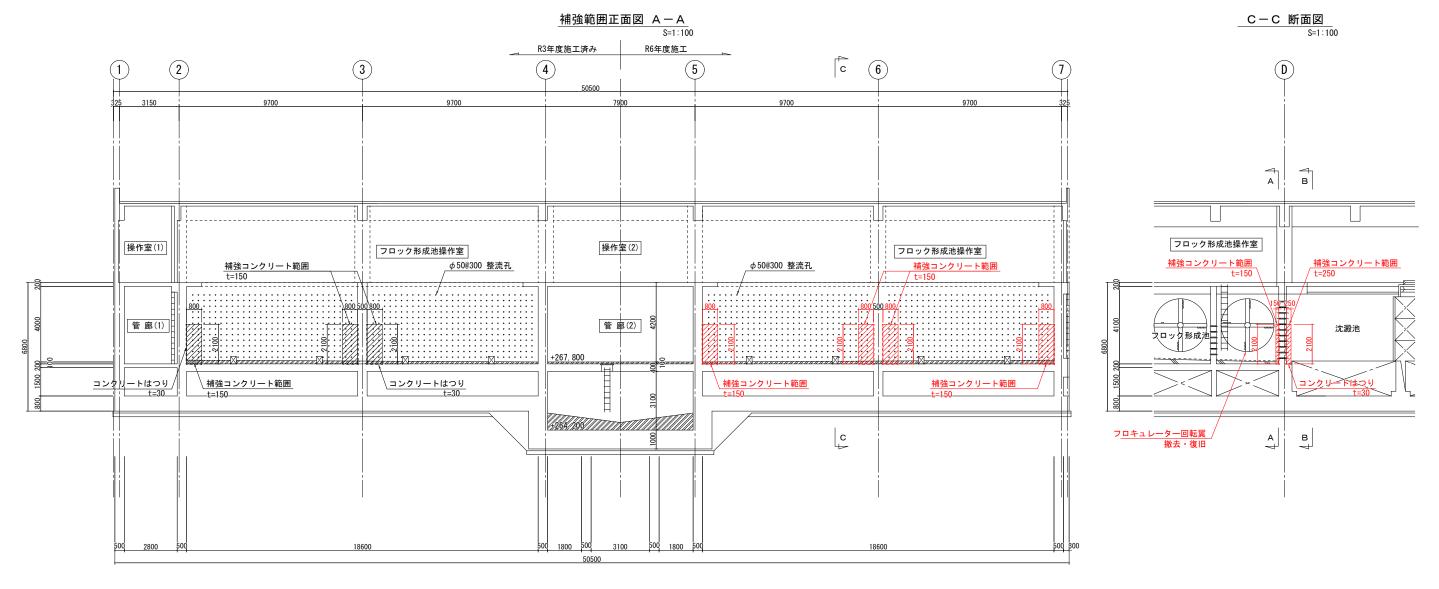
整流孔壁補強図 S=1:100



事	業名	-	十朋	券中音	ß広	域	水道	用力	水付	も に	業	
I	事名	令和(3和6年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事									
名	称	池棟	(フ	ワロッ?	が	成	也) 而	震	補強	図 (-	その 1)
縮	口			1/10	00			製作组	手月日			
承	局長	次	Ę.	課長	係	長	係	設計	番号			
132 年								20	*		7	
	+	勝	中	部	広	垣	水	道	企	業	寸	
_												

池棟(フロック形成池) 耐震補強図(その2)

整流孔壁補強図 S=1:100

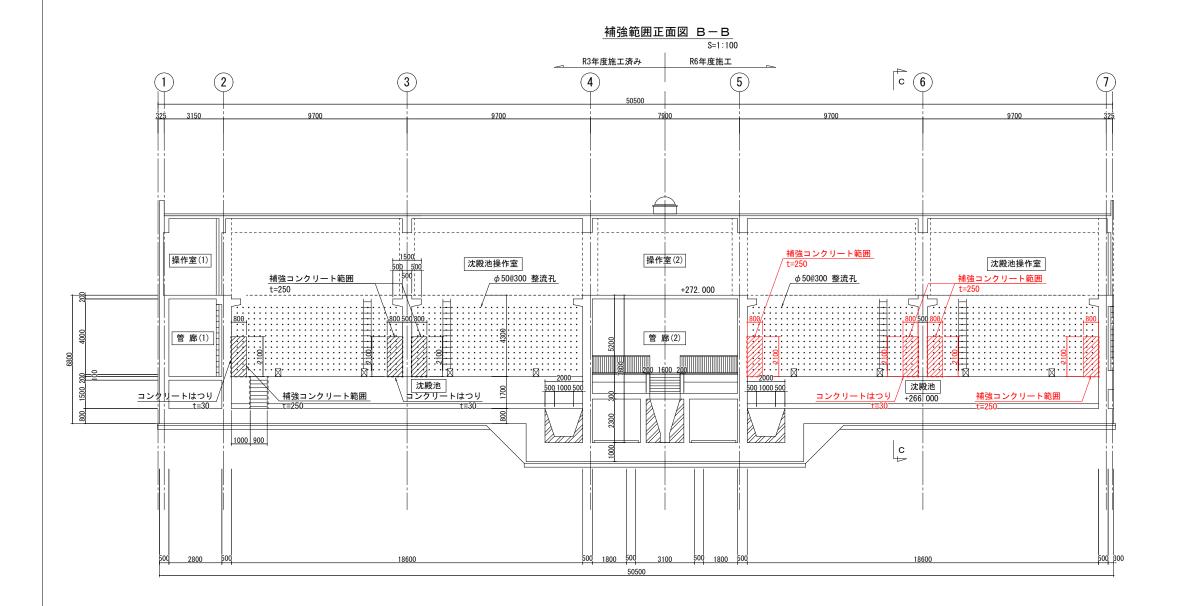


凡 例 補強コンクリート範囲

事	業名		+,	券口	白白	肊	域	水道	用	水付	ŧ給爭	事業
I	事名	令和	6年	度	なか	とか	ち浄	水場池梯	į (1	系No.2	2) 耐震	補強工事
名	韓	池棟	(フロ	ツ :	ク形	成	也) 而	震	補強	図(その2)
縮	尺				1/1	00			製作	年月日		
承	局長	次	長	課	長	係	長	係	設計	番号		
田									図	番		8
	+	勝	4	- i	部	広	垣	1 水	道	企	業	ব

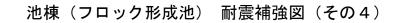
池棟(フロック形成池) 耐震補強図(その3)

整流孔壁補強図 S=1:100

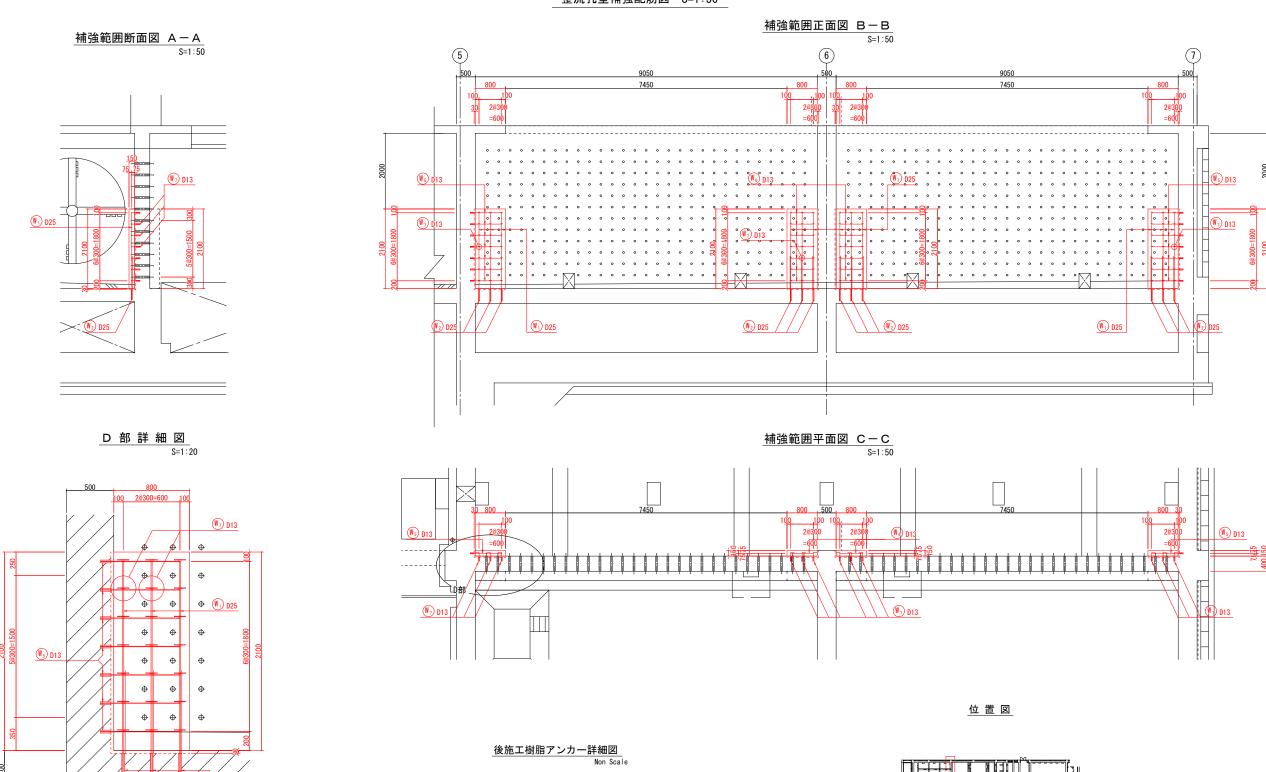


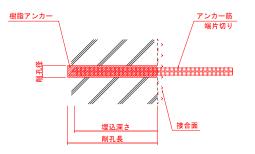


エキ名 令和6年度なかとかち浄水場池棟(1系Mo.2) 耐震補強工事 名 株 池棟(フロック形成池) 耐震補強図(その3) 総 尺 1/100 製作年月日 海 局 長 次 長 課 長 係 長 係 別番号 図 番 9	事	業名	+	-勝中部	『広域	水道	用水供	 共給事業
縮 尺 1/100 製作年月日 滑 局 長 次 長 課 長 係 長 係 設計番号	I	事名	令和6	年度 なか	とかち浄	水場池梯	東 (1系No.2	?)耐震補強工事
海 局 長 次 長 課 長 係 長 係 設計番号	名	称	池棟					
現 設計番号	縮	尺		1/10	00		製作年月日	
		局長	次長	課長	係長	係	設計番号	
							図番	9
十勝中部広域水道企業団		+	- 勝	中部	広均	1 水	道企	業団



整流孔壁補強配筋図 S=1:50





₩₂ D25

後施工樹脂アン	/カー寸法			
接着アンカー	アンカー筋 埋込長	削孔寸法	削孔向き	備考
樹脂アンカー D13用(φ13xL83)	D13×L100	φ16×L120	横向き	
樹脂アンカー D25円(4.24.5vl.265)	D25 × L300	φ 32 × L320	下向き	

※特記仕様 ・後施工樹脂アンカーの使用材料は、厚生労働省令5.15号

浸出試験合格品とすること。

	TII	
! :		*
		<u> </u>
L		

事	業名		+,	勝中部	『広域	水道	用	水付	ŧ給事業		
I	事名	令和	6年	度 なか	とかち浄	水場池棋	(1	系No.2	2) 耐震補強工事		
名	8 料 池棟(フロック形成池) 耐震補強図(その4)										
縮	尺	1	/20	, 1/50, N	ONE SCA	LE	製作年	手月日			
東認	局長	次	長	課長	係長	係	設計	番号			
88							図	番	10		
	+	- 勝	Д	部	広 垣	t 7k	渞	企	業団		

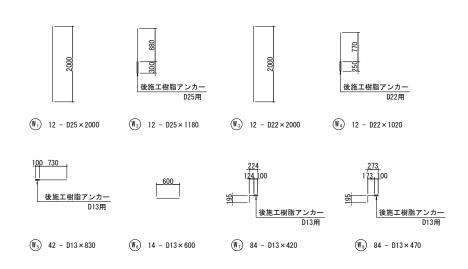
池棟(フロック形成池) 耐震補強図(その5) 整流孔壁補強配筋図 S=1:50 補強範囲正面図 B-B 補強範囲断面図 A-A (5) ₩₃ D22 ₩₄ D22 ₩₄ D22 ₩₃ D22 D部詳細図 補強範囲平面図 C-C ₩₈ D13 4в ₩₅ D13 ₩₅ D13 **W**₅ D13 位置図 後施工樹脂アンカー詳細図 樹脂アンカー 後施工樹脂アンカー寸法 アンカー筋埋込長 W₄ D22 接着アンカー 削孔向き 樹脂アンカー D13用(φ13xL83) D13×L100 ϕ 16 × L120 横向き 樹脂アンカー D22用(φ22xL198) $D22 \times L250$ ϕ 28 × L270 十勝中部広域水道用水供給事業 ※特記仕様 ・後施工樹脂アンカーの使用材料は、厚生労働省令5.15号 エ 事 名 令和 6 年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事 接合面 浸出試験合格品とすること。 8 物 池棟(フロック形成池) 耐震補強図(その5) 縮 尺 1/20, 1/50, NONE SCALE 製作年月日 十勝中部広域水道企業団

池棟(フロック形成池) 耐震補強図(その6)

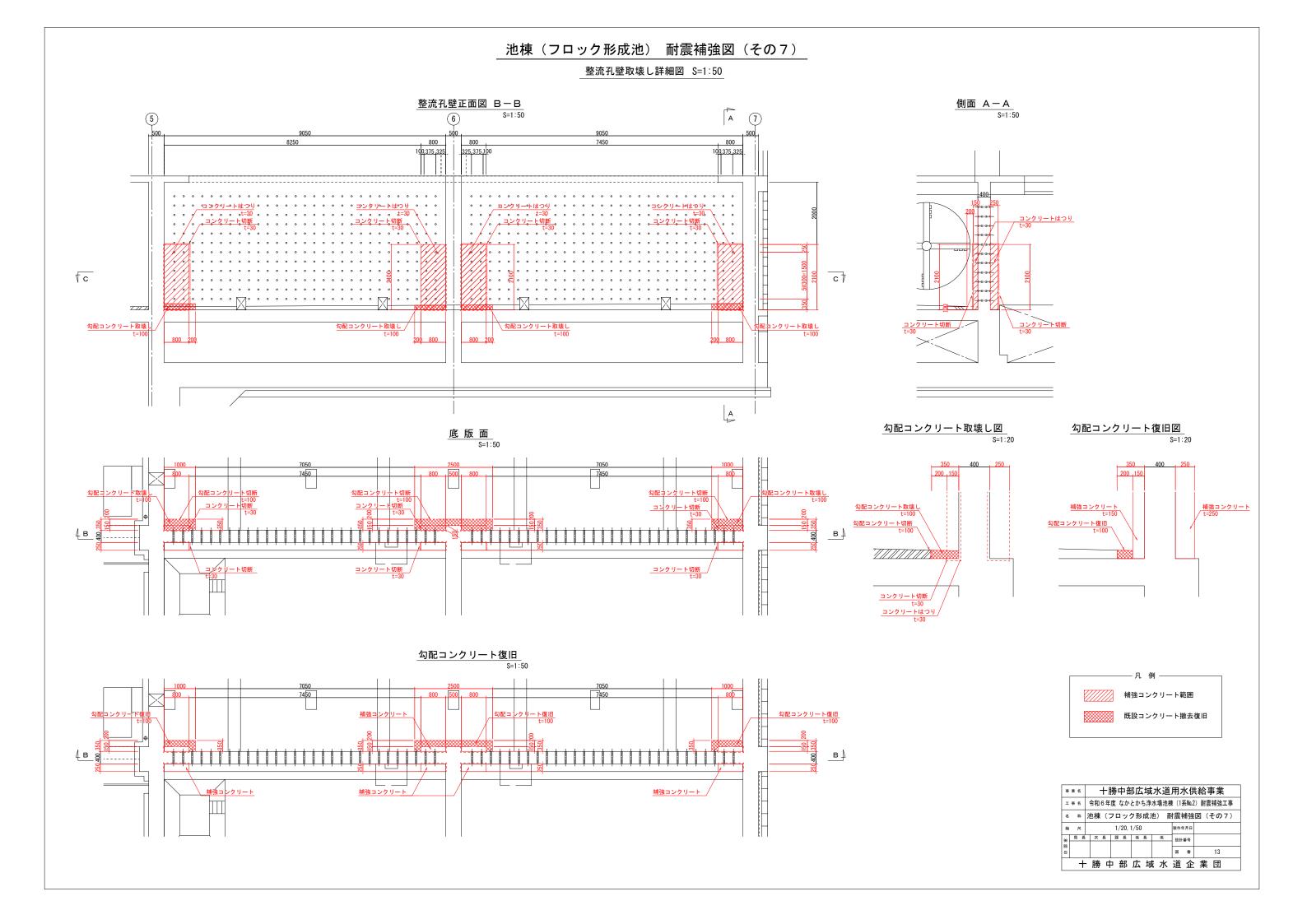
整流孔壁補強配筋図 S=1:50

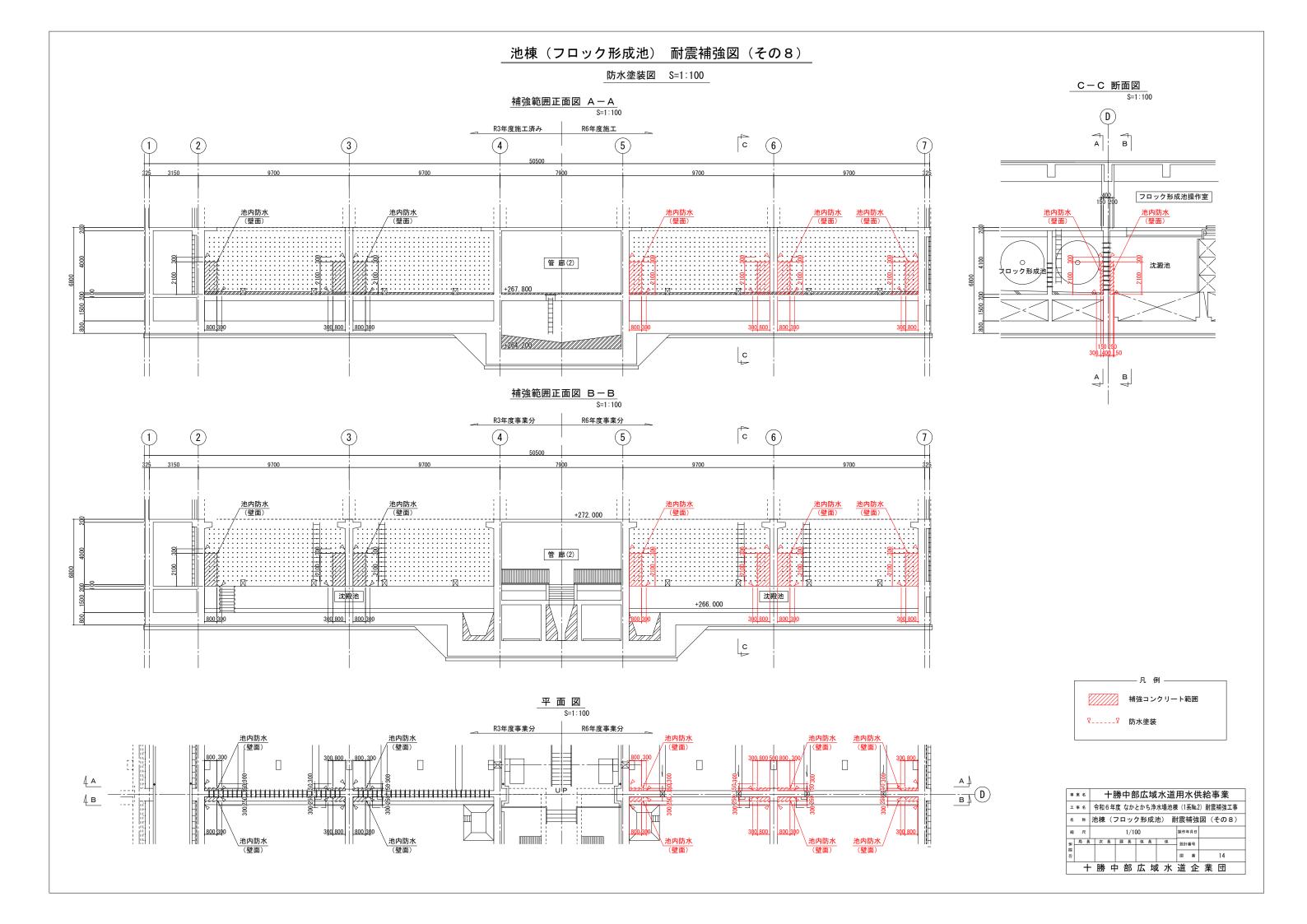
△井	44	=
拡大	肋	衣

火人.	_л	//_1X						
符	号	径 (mm)	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1 本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘要
W	1	D25	2000	12	3. 98	7. 960	95. 5	
	2	D25	1180	12	3. 98	4. 696	56. 4	1
	3	D22	2000	12	3. 04	6. 080	73. 0	
	4	D22	1020	12	3. 04	3. 101	37. 2	1
	5	D13	830	42	0. 995	0. 826	34. 7	
	6	D13	600	14	0. 995	0. 597	8. 4	
	7	D13	420	84	0. 995	0. 418	35. 1	-
	8	D13	470	84	0. 995	0. 468	39. 3	-
						小 計	347. 8	kg
			(SD 345)			D25	151. 9	kg
						D22	110. 2	kg
						D13	117. 5	kg
						合 計	379. 6	kg
			·		先端片切り筐	前所 D25	12	箇所
						D22	12	箇所
						D13	210	箇所
						合 計	234	箇所



事	業名	+	勝中部	『広域	水道	用水供	共給事業				
I	事名	令和6	令和6年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事								
名	称	池棟(フロッ?	ク形成	也) 而	捜票補強	図(その6)				
縮	尺		1/50 製作年月日								
展	局長	次長	課長	係長	係	設計番号					
哥						図番	12				
	+	- 勝	中部	広垣	北	道企	業 団				

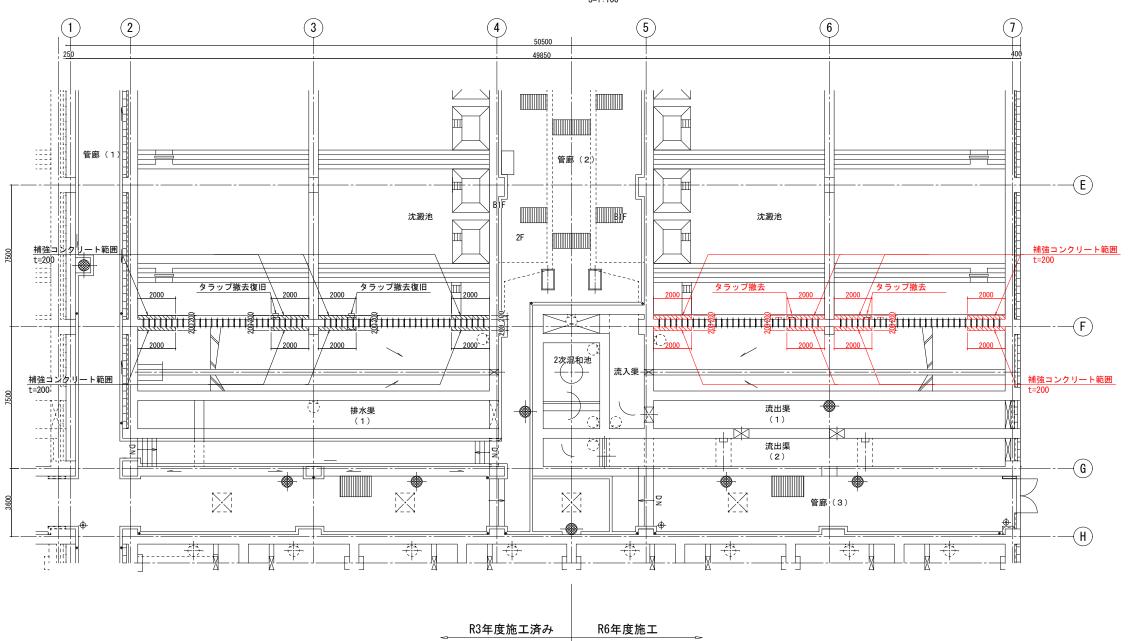




池棟(沈殿池) 耐震補強図(その1)

側壁補強図 S=1:100

補強範囲平面図 S=1:10

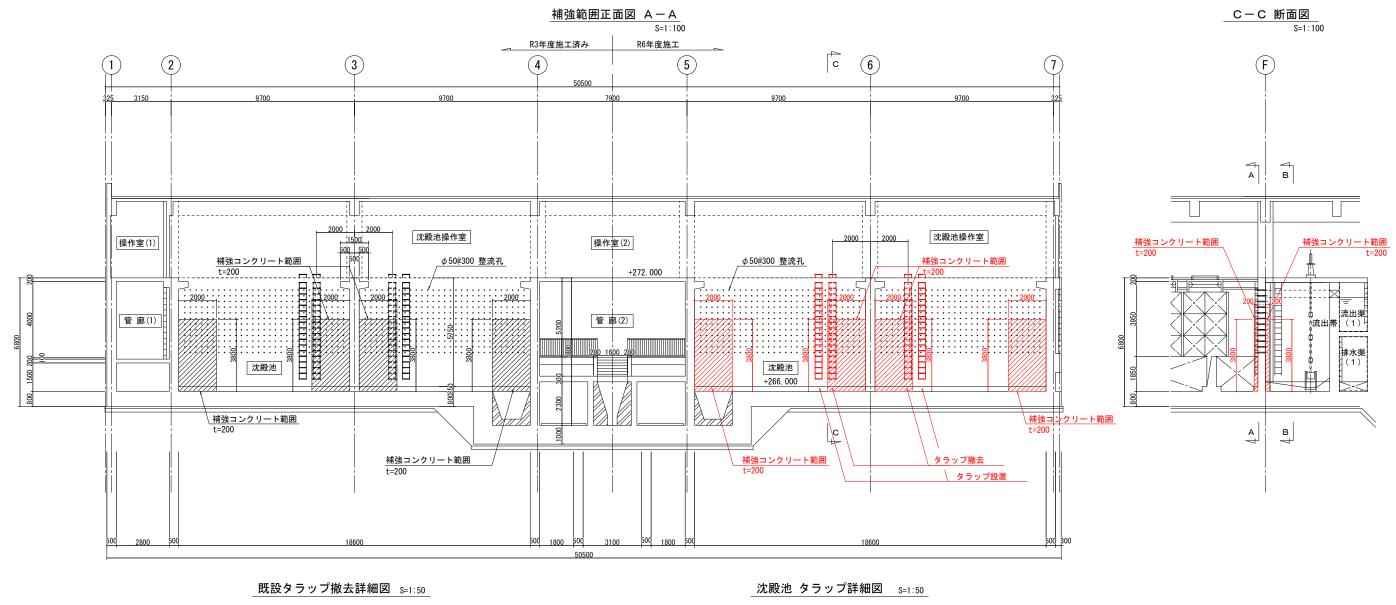




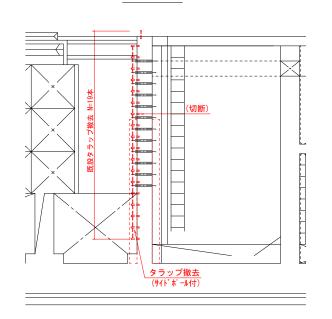
	事	業名	5		+1	勝	中部	邻戊	域	こ	k道	用。	水件	ŧ給	事業	
	I	事名	5	令和	6年	度	なか	とか	ち浄	水	場池村	東(1	系No.2	2) 耐湿	(補強:	工事
	名	*	ķ.		池棟(沈殿池) 耐震補強図(その1)											
	縮	F	5		1/100								月日			
3		局	長	次	長	96	- 長	係	長	F	係	設計	番号			
	9 E											3	番		15	
			+	勝	-	þ	部	広	垣	ţ	水	道	企	業	寸	

池棟(沈殿池) 耐震補強図(その2)

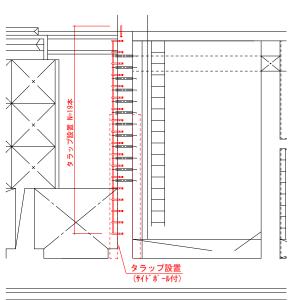
側壁補強図 S=1:100



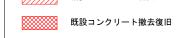
側面図



側面図



補強コンクリート範囲



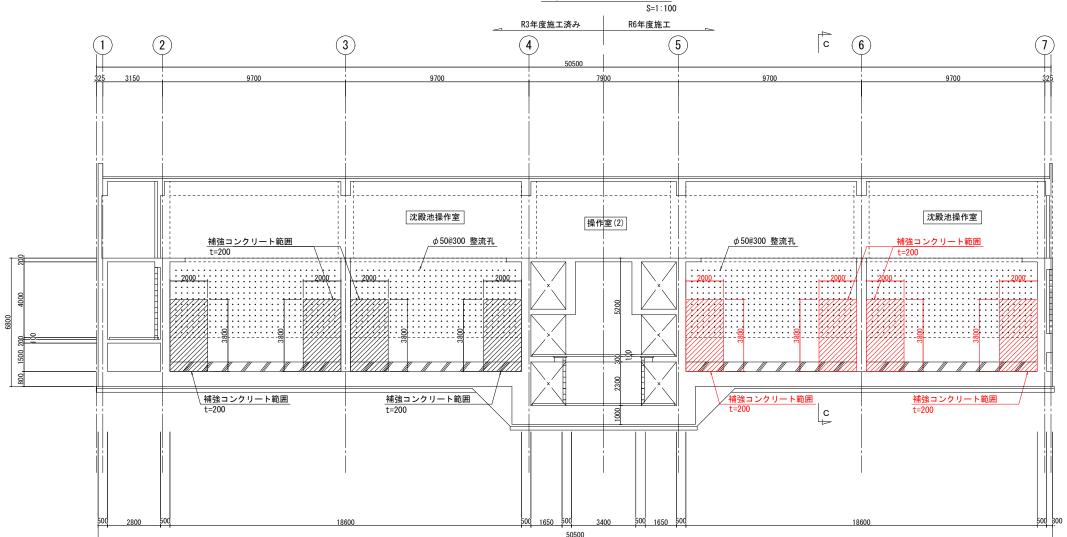
ΔΔ	防水塗装	

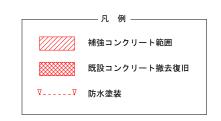
事	業名	+	勝中部	邓広域	水道	用水值	共給事	事業
I	事名	令和6年	度 なか	とかち浄	水場池梯	東 (1系No.:	2) 耐震	補強工事
名	称	池	棟(沈	殿池)	耐震補	強図	(その	2)
縮	尺		1/50, 1	/100		製作年月日		
雅 認	局長	次 長	課長	係長	係	設計番号		
CB 55						図番		16
	+	勝口	中部	広均	は水	道企	業	寸

池棟(沈殿池) 耐震補強図(その3)

側壁補強図 S=1:100

補強範囲正面図 B-B





*	業名	+	十勝中部広域水道用水供給事業								
I	事名	令和6年	和6年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事								
名	称	池村	東(沈月	設池)	耐震補	強図((その3)				
縮	尺		1/1	00		製作年月日					
承認	局長	次長	課長	係長	係	設計番号					
28 ED						図番	17				
	+	勝中	ョ部	広垣	は水	道企	業団				

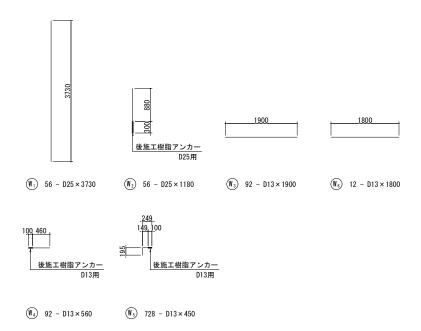
池棟(沈殿池) 耐震補強図(その4) 側壁補強配筋図 S=1:50 補強範囲断面図 A-A 補強範囲正面図 B-B (5) ₩₃ D13 ₩₅ D13 ₩₄ D13 W₁ D25 ₩₅ D13 ₹c с 7 ₩₁ D25 沈殿池 ₩₁) D25 <u>₩₆</u> D13 ₩₆ D13 D部詳細図 補強範囲平面図 C-C 6@300=1800 **W**₃ D13 **W**₅ D13 ₩4 D13 ₩3 D1 Φ W₁ D25 位 置 図 後施工樹脂アンカー詳細図 樹脂アンカー 後施工樹脂アンカー寸法 接着アンカー 備考 削孔寸法 削孔向き 樹脂アンカー D13用(φ13xL83) D13×L100 φ16×L120 横向き 樹脂アンカー $D25 \times L300$ $\phi 32 \times L320$ 下向き D25用 (φ24. 5xL265) + * * + | 十勝中部広域水道用水供給事業 ・後施工樹脂アンカーの使用材料は、厚生労働省令5.15号 エ 事 名 令和 6 年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事 接合面 池棟(沈殿池) 耐震補強図(その4) 浸出試験合格品とすること。 1/20, 1/50, NONE SCALE 製作年月日 · 局長 次長 課長 係長 係 設計番号 ₩₂ D25 図番 6@300=1800 十勝中部広域水道企業団

池棟(沈殿池) 耐震補強図(その5) 側壁補強配筋図 S=1:50 補強範囲断面図 A-A 補強範囲正面図 B-B ₩₅ D13 ₩₅ D13 c 7 D部詳細図 補強範囲平面図 C-C **W**₅ D13 <u>₩₃ D13</u> <u>₩₅ D13</u> 4в ₩₄ D13 ₩₃ D13 ₩₄ D13 ₩₃ D13 ₩₃ D13 W₁ D25 位 置 図 後施工樹脂アンカー詳細図 アンカー筋 端片切り 樹脂アンカー 後施工樹脂アンカー寸法 アンカー筋 接着アンカー 削孔向き 備考 削孔寸法 樹脂アンカー D13×L100 ϕ 16×L120 横向き D13用 (φ13xL83) 樹脂アンカー D25用(φ24.5xL265) D25 × L300 ϕ 32 × L320 下向き 十勝中部広域水道用水供給事業 ・後施工樹脂アンカーの使用材料は、厚生労働省令5.15号 エ * 名 | 令和 6 年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事 浸出試験合格品とすること。 池棟(沈殿池) 耐震補強図(その5) 1/20, 1/50, NONE SCALE 製作年月日 知 局 長 次 長 課 長 係 長 係 設計番号 W₂ D25 図番 十勝中部広域水道企業団

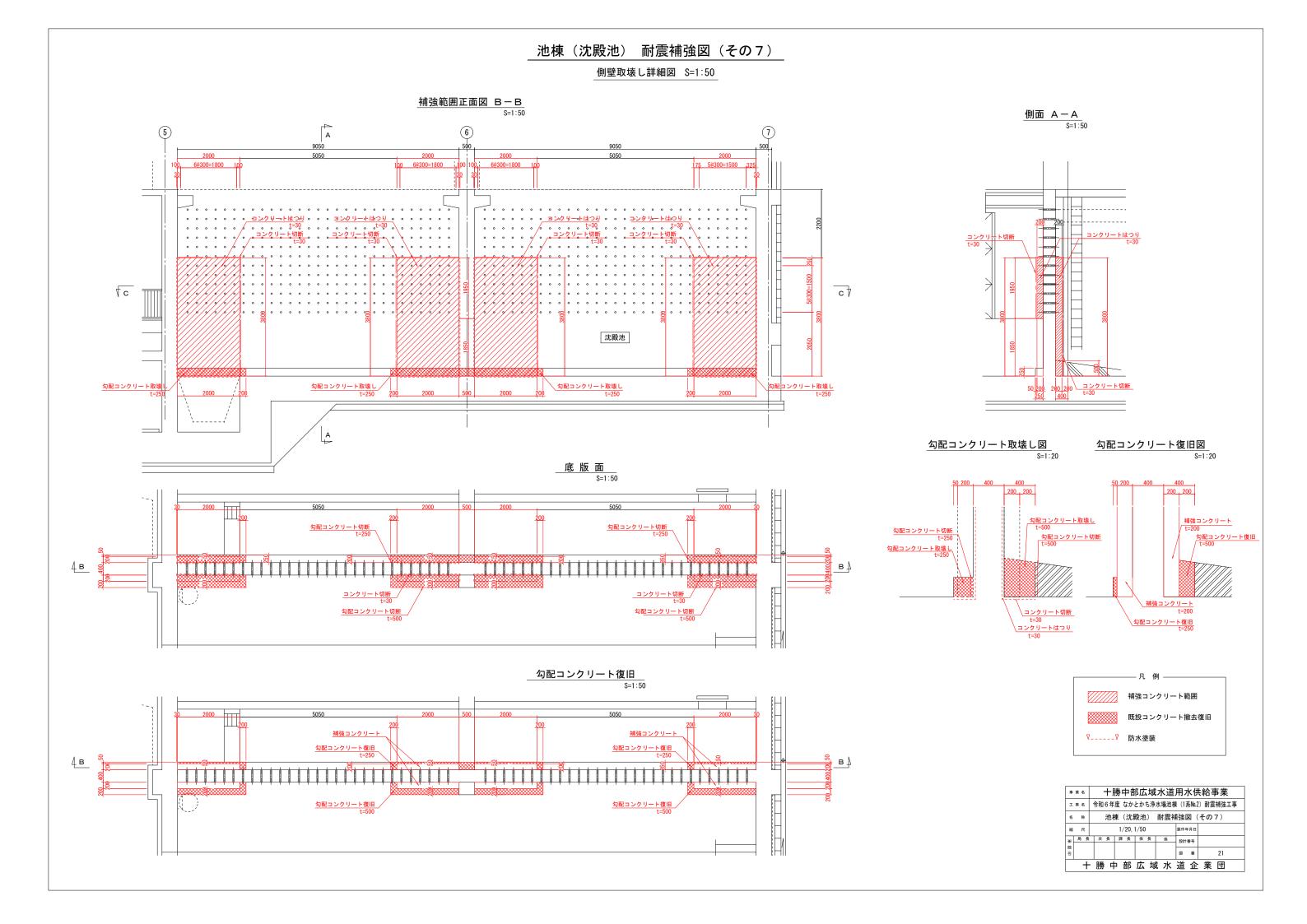
池棟(沈殿池) 耐震補強図(その6)

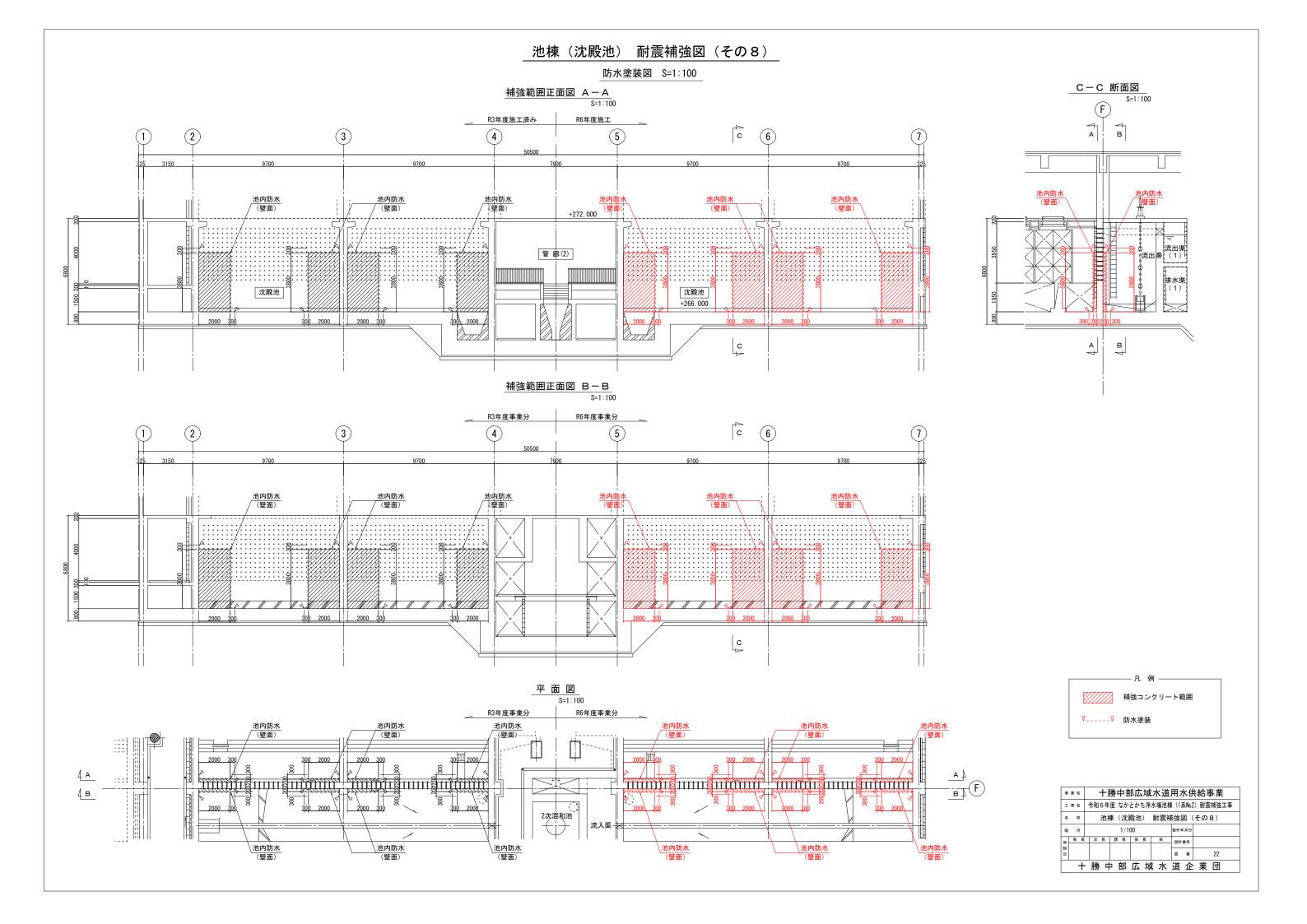
側壁補強配筋図 S=1:50

守	号	5 <u>表</u> 径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1 本当り (kg)		質 量 (kg)	摘	要
W	1	D25	3730	56	3. 98	14.	845	831. 3		
	2	D25	1180	56	3. 98	4.	696	263. 0	- 1	
	3	D13	1900	92	0. 995	1.	891	173. 9	—	
	4	D13	560	92	0. 995	0.	557	51. 3	-	
	5	D13	450	728	0. 995	0.	448	326. 1	-	
	6	D13	1800	12	0. 995	1.	791	21. 5		
						小	計	1667. 1	kg	
_			(OD 045)				DOE	1004.0	To an	
			(SD 345)				D25	1094. 3		
							D13	572. 8	kg	
							計	1667. 1	kg	
					先端片切り間	所	D25	56	箇所	
							D13	820	箇所	
						合	計	876	箇所	



_							
事	業名	+	勝中部	邓広域	水道	用水值	共給事業
I	事名	令和6年	度 なか	とかち浄	水場池村	東(1系No.	2) 耐震補強工事
名	称	池	棟(沈	殿池)	耐震补	甫強図	(その6)
縮	尺		1/5	50		製作年月日	
承認	局長	次長	課長	係長	係	設計番号	
E 50						図 番	20
	+	勝口	中部	広垣	t 水	道企	業 団

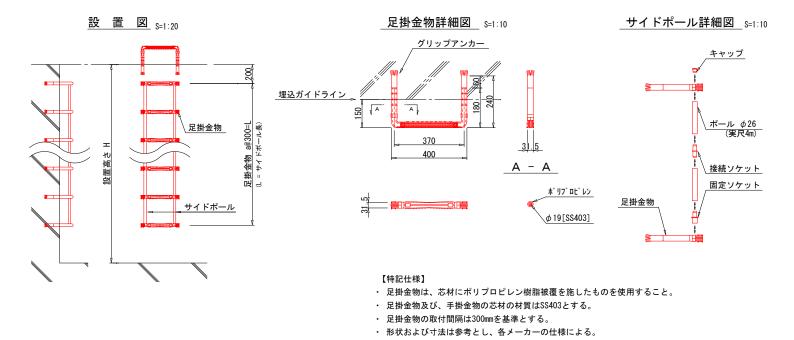




附带設備構造図

S=1:20

タラップ詳細図



タラップ寸法・数量表

番号	設置高さ H (mm)	足掛 設置間隔 a	金物 本数 N(本)	サイドポール 手掛金 延長 本数 L (mm) N (本)		本数 有無		備考
1	6000	17	18	5100	1	無	2	

*	業名	-	十勝	持中部	肜広	域	水道	用力	水供	給	事業	
I	事名	令和(6和6年度 なかとかち浄水場池棟 (1系No.2) 耐震補強工事									
名	粹		附帯設備構造図									
縮	尺		1/10, 1/20						月日			
東認	局長	次	Ę.	課長	係	Ę.	係	設計	番号			
8				_	_	_		図	番		23	
	+	勝	中	部	広	均	水	道	企	業	寸	

